

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

PCT/JP 2004/011038

04. 8. 2004

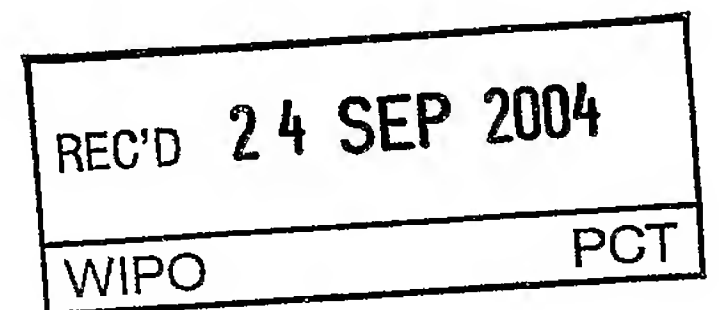
別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application: 2003年12月12日

出願番号  
Application Number: 特願2003-415206  
[ST. 10/C]: [JP 2003-415206]

出願人  
Applicant(s): シャープ株式会社

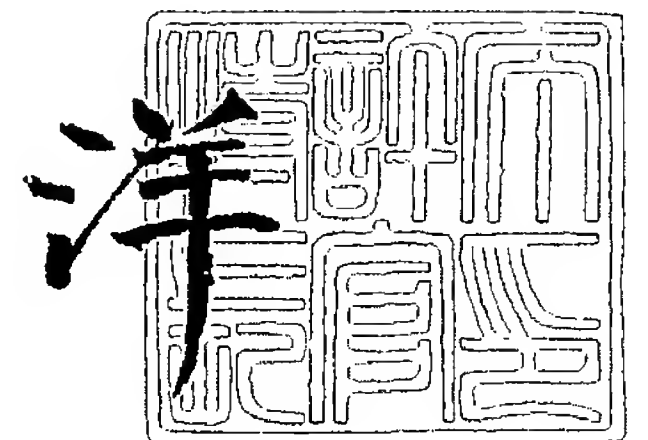


**PRIORITY  
DOCUMENT**  
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2004年 9月10日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

小川



出証番号 出証特2004-3081663

【書類名】 特許願  
【整理番号】 1032323  
【提出日】 平成15年12月12日  
【あて先】 特許庁長官殿  
【国際特許分類】 G06F 13/00  
【発明者】  
    【住所又は居所】 大阪府大阪市阿倍野区長池町 2 2 番 2 2 号 シャープ株式会社内  
    【氏名】 財満 博昭  
【発明者】  
    【住所又は居所】 大阪府大阪市阿倍野区長池町 2 2 番 2 2 号 シャープ株式会社内  
    【氏名】 津森 靖  
【発明者】  
    【住所又は居所】 大阪府大阪市阿倍野区長池町 2 2 番 2 2 号 シャープ株式会社内  
    【氏名】 小野 修一郎  
【発明者】  
    【住所又は居所】 大阪府大阪市阿倍野区長池町 2 2 番 2 2 号 シャープ株式会社内  
    【氏名】 上田 徹  
【特許出願人】  
    【識別番号】 000005049  
    【住所又は居所】 大阪府大阪市阿倍野区長池町 2 2 番 2 2 号  
    【氏名又は名称】 シャープ株式会社  
【代理人】  
    【識別番号】 100064746  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 深見 久郎  
【選任した代理人】  
    【識別番号】 100085132  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 森田 俊雄  
【選任した代理人】  
    【識別番号】 100083703  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 仲村 義平  
【選任した代理人】  
    【識別番号】 100096781  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 堀井 豊  
【選任した代理人】  
    【識別番号】 100098316  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 野田 久登  
【選任した代理人】  
    【識別番号】 100109162  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 酒井 將行  
【手数料の表示】  
    【予納台帳番号】 008693  
    【納付金額】 21,000円  
【提出物件の目録】  
    【物件名】 特許請求の範囲 1

【物件名】 明細書 1  
【物件名】 図面 1  
【物件名】 要約書 1  
【包括委任状番号】 0208500

**【書類名】 特許請求の範囲****【請求項 1】**

少なくともレイアウト情報を有する元ファイルと、1ないし複数の情報機器の少なくとも1つの能力の内容を表わす属性データとを記憶するための記憶手段と、

前記属性データに基づいて、前記元ファイルを変換するための変換手段とを備え、

前記変換手段は、

前記元ファイルに含まれるデータに基づく変換処理により、予め定められた第1のデータ形式で表現されるファイルを生成するための第1のファイル変換手段と、

前記元ファイルに含まれるデータに基づく変換処理により、予め定められた第2のデータ形式で表現されるファイルを生成するための第2のファイル変換手段とを含み、

さらに、

前記属性データに対応付けられる情報機器に、前記変換手段から出力されたファイルを出力するための出力手段とを備える、データ変換装置。

**【請求項 2】**

前記第1のファイル変換手段は、前記レイアウト情報に基づいて、前記元ファイルをラスタデータにより表現されるファイルに変換し、

前記第2のファイル変換手段は、前記レイアウト情報に基づいて、前記元ファイルをベクトルデータにより表現されるファイルに変換する、請求項1に記載のデータ変換装置。

**【請求項 3】**

前記データ変換装置はさらに、通信回線を介して、前記元ファイルを受信するための受信手段を備える、請求項1に記載のデータ変換装置。

**【請求項 4】**

前記データ変換装置はさらに、前記属性データに基づいて、前記元ファイルを変換する必要があるか否かを判断するための判断手段を備え、

前記変換手段は、前記判断手段が前記元ファイルを変換する必要があると判断すると、前記元ファイルを変換することなく出力する、請求項1に記載のデータ変換装置。

**【請求項 5】**

前記データ変換装置はさらに、前記属性データに基づいて、前記第1のファイル変換手段および前記第2のファイル変換手段のいずれにより前記元ファイルを変換する必要があるか否かを判断するための判断手段を備え、

前記第1のファイル変換手段は、前記判断手段が前記第1のファイル変換手段により変換する必要があると判断した場合に、前記元ファイルに含まれるデータに基づいて、前記元ファイルを前記ラスタデータにより表現されるファイルに変換し、

前記第2のファイル変換手段は、前記判断手段が前記第2のファイル変換手段により変換する必要があると判断した場合に、前記元ファイルに含まれるデータに基づいて、前記元ファイルを前記ベクトルデータにより表現されるファイルに変換する、請求項2に記載のデータ変換装置。

**【請求項 6】**

前記データ変換装置はさらに、前記属性データに基づいて、前記元ファイルを変換する必要があるか否かを判断するための判断手段を備え、

前記第1のファイル変換手段は、前記判断手段が前記元ファイルを変換する必要があると判断すると、前記元ファイルに含まれるデータに基づいて、前記元ファイルを前記ラスタデータにより表現されるファイルに変換し、

前記第2のファイル変換手段は、前記判断手段が前記元ファイルを変換する必要があると判断すると、前記元ファイルに含まれるデータに基づいて、前記元ファイルを前記ベクトルデータにより表現されるファイルに変換する、請求項2に記載のデータ変換装置。

**【請求項 7】**

前記出力手段は、通信回線を介して、前記属性データに対応付けられる情報機器に、前記出力されたファイルを縮小して表示するためのデータを出力するための送信手段を含む、請求項2に記載のデータ変換装置。

**【請求項 8】**

前記データ変換装置はさらに、通信回線を介して、前記出力されたファイルの送信要求を受信するための受信手段を備え、

前記送信手段は、前記送信要求に基づいて、前記属性データに対応付けられる情報機器に、前記ベクトルデータにより表現されるファイルを送信する、請求項 7 に記載のデータ変換装置。

**【請求項 9】**

前記データ変換装置はさらに、

前記出力されたファイルを記憶するためのファイル記憶手段と、

前記データ変換装置ないし前記出力されたファイルにアクセスするためのアクセスデータを生成するための生成手段と、

通信回線を介して、前記属性データに対応付けられる情報機器に、前記アクセスデータを送信するためのアクセスデータ送信手段とを備える、請求項 2 に記載のデータ変換装置。

**【請求項 10】**

前記出力手段は、通信回線を介して、前記属性データに対応付けられる情報機器に、前記出力されたファイルを縮小して表示するためのデータを出力するための送信手段を含む、請求項 9 に記載のデータ変換装置。

**【請求項 11】**

前記出力されたファイルは、複数のファイルを含み、

前記送信手段は、前記複数のファイルの各々を縮小して表示するためのデータを出力し、

前記データ変換装置はさらに、通信回線を介して、前記複数のファイルのいずれかの送信要求を受信するための受信手段を備え、

前記送信手段は、前記送信要求に基づいて、前記属性データに対応付けられる情報機器に、前記ベクトルデータにより表現されるファイルを送信する、請求項 10 に記載のデータ変換装置。

**【請求項 12】**

前記データ変換装置はさらに、

予め定められた方式に基づいて、前記出力されたファイルにアクセスするための認証情報の入力を要求するメッセージを生成するための生成手段と、

前記出力されたファイルに、前記メッセージを付加するための付加手段とを備え、

前記出力手段は、前記メッセージが付加されたファイルを、前記属性データに対応付けられる情報機器に出力し、

前記データ変換装置はさらに、

前記属性データに対応付けられる情報機器の利用者により入力された入力情報を受信するための手段と、

前記認証情報と前記入力情報とに基づいて、前記出力されたファイルへのアクセスを認証するための認証手段とを備える、請求項 11 に記載のデータ変換装置。

**【請求項 13】**

前記データ変換装置は、通信回線を介して印刷装置に接続され、

前記出力手段は、前記出力されたファイルを、前記印刷装置に出力するための手段を含む、請求項 2 に記載のデータ変換装置。

**【請求項 14】**

前記変換手段は、前記元ファイルにおいて予め定められたデータの区切りごとに、前記元ファイルを変換する、請求項 1 に記載のデータ変換装置。

**【請求項 15】**

前記データ変換装置はさらに、前記出力されたファイルが予め定められた条件を満足するか否かを確認するための確認手段を備え、

前記第 1 のファイル変換手段は、



前記出力されたファイルが前記予め定められた条件を満足しない場合に、前記元ファイルを変換する条件を変更するための条件変更手段と、

前記変更された条件に基づいて、前記元ファイルを変換するための手段とを含む、請求項 2 に記載のデータ変換装置。

【請求項 1 6】

前記元ファイルを変換する条件は、前記元ファイルの圧縮率を含み、

前記予め定められた条件は、前記出力されたファイルのサイズが予め定められたサイズを下回ることであり、

前記条件変更手段は、前記出力されたファイルのサイズが前記予め定められたサイズを上回る場合には、前記圧縮率を大きくする、請求項 1 5 に記載のデータ変換装置。

【請求項 1 7】

少なくともレイアウト情報を有する元ファイルと、1 ないし複数の情報機器の少なくとも 1 つの能力の内容を表わす属性データとを予め準備するステップと、

前記属性データに基づいて、前記元ファイルを変換する変換ステップとを備え、

前記変換ステップは、

前記元ファイルに含まれるデータに基づく変換処理により、予め定められた第 1 のデータ形式で表現されるファイルを生成するステップと、

前記元ファイルに含まれるデータに基づく変換処理により、予め定められた第 2 のデータ形式で表現されるファイルを生成するステップとを含み、

さらに、

前記属性データに対応付けられる情報機器に、前記変換ステップから出力されたファイルを出力するステップとを備える、データ変換方法。

【請求項 1 8】

コンピュータをデータ変換装置として機能させるためのプログラムであって、前記プログラムは前記コンピュータに、

少なくともレイアウト情報を有する元ファイルと、1 ないし複数の情報機器の少なくとも 1 つの能力の内容を表わす属性データとを予め準備するステップと、

前記属性データに基づいて、前記元ファイルを変換する変換ステップとを実行させ、

前記変換ステップは、

前記元ファイルに含まれるデータに基づく変換処理により、予め定められた第 1 のデータ形式で表現されるファイルを生成するステップと、

前記元ファイルに含まれるデータに基づく変換処理により、予め定められた第 2 のデータ形式で表現されるファイルを生成するステップとを含み、

さらに、前記プログラムは前記コンピュータに、

前記属性データに対応付けられる情報機器に、前記変換ステップから出力されたファイルを出力するステップとを実行させる、プログラム。

【請求項 1 9】

請求項 1 8 に記載のプログラムを格納した、コンピュータ読取可能な記録媒体。

**【書類名】 明細書**

**【発明の名称】** データ変換装置、データ変換方法、コンピュータをデータ変換装置として機能させるためのプログラム、およびそのプログラムを格納した記録媒体

**【技術分野】****【0 0 0 1】**

本発明は、出力先の情報機器に応じてデータを変換して出力する技術に関し、特に、複数のデータ形式により表現されるファイルに変換することができるデータ変換装置、データ変換方法、コンピュータをデータ変換装置として機能させるためのプログラム、およびそのプログラムを格納した記録媒体に関する。

**【背景技術】****【0 0 0 2】**

文書データその他の電子データは、そのデータの形式に適合する特定のアプリケーションを備えたコンピュータその他の情報処理機器において参照可能とある。この情報処理機器には、そのようなアプリケーションを予め記憶している場合もあれば、そのデータに応じた閲覧を実行するために、そのアプリケーションのインストールが必要になる場合もある。そのため、たとえば情報処理装置が文書データ等を出力すると、出力先の情報処理機器の性能によっては、その文書データが閲覧できない場合もあった。

**【0 0 0 3】**

そこで、このような問題点を解決するために、たとえば特開平 4 - 1 1 9 4 5 7 号公報（特許文献 1）は、表示装置と印刷装置とに接続され、カラーテキストとカラー図形とカラー画像とを整形して文書を作成することができる文書処理装置を開示する。この文書処理装置は、カラーテキストとカラー図形とカラー画像をどのように整形あるいは組版するかを表示装置あるいは印刷装置に依存しない状態で指示するための指示手段と、指示手段の指示内容に基づいて、テキスト、図形、イメージを含む文書を整形し組み版するための処理手段と、組み版された図形、テキスト、画像を含むカラー文書を表示装置あるいは印刷装置の性能に合わせて出力する出力手段とを含む。

**【0 0 0 4】**

特許文献 1 に開示された文書処理装置によると、指示手段が整形あるいは組み版の態様を指示すると、処理手段はその指示に基づいて、文書を整形し組み版する。出力手段は、出力先の性能に応じてこの文書を出力する。これにより、カラーテキスト、カラー画像あるいはカラーイメージを編集しつつ、出力先に応じて出力する文書処理装置が提供される。

**【特許文献 1】** 特開平 4 - 1 1 9 4 5 7 号公報

**【発明の開示】****【発明が解決しようとする課題】****【0 0 0 5】**

ところで、近年、携帯電話機その他の小型の携帯通信端末が普及している。そのような携帯通信端末は、モニタのサイズあるいは表示可能なフォントに制約がある。そのため、係る携帯通信端末は、たとえば、特許文献 1 に開示された文書処理装置その他の装置によって処理された文書を、最適に表示することができない場合があった。

**【0 0 0 6】**

本発明は、上述の問題点を解決するためになされたものであって、その目的は、レイアウト情報を有するファイルを、情報機器におけるファイルの処理機能に依存することなく表示可能な形式のファイルに変換することができるデータ変換装置を提供することである。

**【0 0 0 7】**

本発明の他の目的は、レイアウト情報を有するファイルを、情報機器におけるファイルの処理機能に依存することなく表示可能な形式のファイルに変換することができるデータ変換方法を提供することである。

**【0 0 0 8】**

本発明の他の目的は、レイアウト情報を有するファイルを、情報機器におけるファイルの処理機能に依存することなく表示可能な形式のファイルに変換することができるコンピュータをデータ変換装置として機能させることができるプログラムを提供することである。

#### 【0009】

本発明のさらに他の目的は、レイアウト情報を有するファイルを、情報機器におけるファイルの処理機能に依存することなく表示可能な形式のファイルに変換することができるデータ変換装置としてコンピュータを機能させることができるプログラムを格納した記録媒体を提供することである。

#### 【課題を解決するための手段】

#### 【0010】

上記の課題を解決するために、この発明のある局面に従うと、データ変換装置は、少なくともレイアウト情報を有する元ファイルと、1ないし複数の情報機器の少なくとも1つの能力の内容を表わす属性データとを記憶するための記憶手段と、属性データに基づいて、元ファイルを変換するための変換手段とを備える。変換手段は、元ファイルに含まれるデータに基づく変換処理により、予め定められた第1のデータ形式で表現されるファイルを生成するための第1のファイル変換手段と、元ファイルに含まれるデータに基づく変換処理により、予め定められた第2のデータ形式で表現されるファイルを生成するための第2のファイル変換手段とを含む。データ変換装置は、さらに、属性データに対応付けられる情報機器に、変換手段から出力されたファイルを出力するための出力手段とを備える。

#### 【0011】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、第1のファイル変換手段は、元ファイルに含まれるデータに基づく変換処理を実行して、予め定められた第1のデータ形式で表現されるファイルを生成する。ここで、元ファイルは、テキストデータと、グラフィックスデータと、イメージデータとの少なくともいずれかを含む。レイアウト情報は、たとえば文書全体の大きさや、テキスト、グラフィックス、イメージなどの大きさや位置の情報に加えて、文字の色、装飾、フォントの種類その他の書式情報も含む。第2のファイル変換手段は、元ファイルに含まれるデータに基づく変換処理を実行して、予め定められた第2のデータ形式で表現されるファイルを生成する。出力手段は、変換手段から出力されるファイルを、属性データに対応付けられる情報機器に出力する。この属性データは、少なくとも1つ以上の情報機器のいずれかの能力の内容を表わす。ここで、能力の内容とは、たとえば情報機器が備える表示装置の表示可能領域の大きさ、通信回線における伝送可能容量、あるいは情報機器が有するメモリの大きさその他、情報処理の能力に関する内容を表わす。このようにすると、その情報機器は、処理可能な機能に依存することなく、受信したファイルを適切に表示することができる。これにより、レイアウト情報を有するファイルを、情報機器におけるファイルの処理機能に依存することなく表示可能な形式のファイルに変換することができるデータ変換装置を提供することができる。

#### 【0012】

好ましくは、第1のファイル変換手段は、レイアウト情報に基づいて、元ファイルをラスタデータにより表現されるファイルに変換する。第2のファイル変換手段は、レイアウト情報に基づいて、元ファイルをベクトルデータにより表現されるファイルに変換する。

#### 【0013】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、元ファイルは、ラスタデータにより表現されるファイルと、ベクトルデータにより表現されるファイルとに変換される。ここで、ラスタデータとは、たとえば着色されたドットその他の表示要素の配列により画像を表現するためのデータをいう。ベクトルデータとは、点と、各点を結ぶ線、面の方程式のパラメータその他の描画情報によって画像を表現したものをいう。なお、ベクトルデータでは、ラスタデータの内容とその位置と大きさと方向とで、画像を表現してもよい。これにより、ラスタデータのファイルを受信する情報機器は、ビットマップ画像として拡大ないし縮小して、そのファイルの内容を表示できる。また、ベクトルデータのファイルを受信す



る情報機器は、ベクトル画像として明瞭に拡大ないし縮小して、そのファイルの内容を表示できる。

【0 0 1 4】

好ましくは、データ変換装置はさらに、通信回線を介して、元ファイルを受信するための受信手段を備える。

【0 0 1 5】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、送信者が送信した元ファイルが変換されるため、受信者は、処理機能に依存することなく表示可能な形式のファイルを受信することができる。このようにすると、多様なデータ形式を有するファイルが添付された情報通信ネットワークにおいて、ファイルの利用度を高めることができる。

【0 0 1 6】

好ましくは、データ変換装置はさらに、属性データに基づいて、元ファイルを変換する必要があるか否かを判断するための判断手段を備える。変換手段は、判断手段が元ファイルを変換する必要があると判断すると、元ファイルを変換することなく出力する。

【0 0 1 7】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、元ファイルの変換の処理のための負荷が削減されるため、データ変換装置の動作特性の低下を防止することができる。

【0 0 1 8】

好ましくは、データ変換装置はさらに、属性データに基づいて、第1のファイル変換手段および第2のファイル変換手段のいずれにより元ファイルを変換する必要があるか否かを判断するための判断手段を備える。第1のファイル変換手段は、判断手段が第1のファイル変換手段により変換する必要があると判断した場合に、元ファイルに含まれるデータに基づいて、元ファイルをラスタデータにより表現されるファイルに変換する。第2のファイル変換手段は、判断手段が第2のファイル変換手段により変換する必要があると判断した場合に、元ファイルに含まれるデータに基づいて、元ファイルをベクトルデータにより表現されるファイルに変換する。

【0 0 1 9】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、元ファイルの変換が選択的に実行されるため、情報機器が必要としないファイルが生成されないようにすることができる。したがって、たとえば、ファイルの記憶装置の記憶領域を効率よく活用することができる。

【0 0 2 0】

好ましくは、データ変換装置はさらに、属性データに基づいて、元ファイルを変換する必要があるか否かを判断するための判断手段を備える。第1のファイル変換手段は、判断手段が元ファイルを変換する必要があると判断すると、元ファイルに含まれるデータに基づいて、元ファイルをラスタデータにより表現されるファイルに変換する。第2のファイル変換手段は、判断手段が元ファイルを変換する必要があると判断すると、元ファイルに含まれるデータに基づいて、元ファイルをベクトルデータにより表現されるファイルに変換する。

【0 0 2 1】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、元ファイルから、ラスタデータにより表現されるファイルと、ベクトルデータにより表現されるファイルとが生成されるため、ファイルのニーズに応じて、情報機器にファイルを出力することができる。

【0 0 2 2】

好ましくは、出力手段は、通信回線を介して、属性データに対応付けられる情報機器に、出力されたファイルを縮小して表示するためのデータを出力するための送信手段を含む。

【0 0 2 3】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、送信手段が、そのファイルを縮小して表示するためのデータを情報機器に送信すると、情報機器は、そのデータに基づいて、縮小された画像を表示する。これにより、情報機器の利用者は、少ない通信量で変換後のファ

イルの概要を容易に認識することができる。

【 0 0 2 4 】

好ましくは、データ変換装置はさらに、通信回線を介して、出力されたファイルの送信要求を受信するための受信手段を備える。送信手段は、送信要求に基づいて、属性データに対応付けられる情報機器に、ベクトルデータにより表現されるファイルを送信する。

【 0 0 2 5 】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、ベクトルデータにより表現されるファイルが情報機器に送信されるため、その情報機器は、そのファイルに基づいて、画像を明瞭に拡大して表示することができる。なお、送信要求には、送信要求の発信元、ファイル送信先を特定する情報、および変換に使用する属性データを特定する情報の少なくとも1つが含まれてもよい。また、送信要求と変換装置との両方に属性データを特定する情報が含まれている場合、送信要求に含まれる情報を優先してもよい。

【 0 0 2 6 】

好ましくは、データ変換装置はさらに、出力されたファイルを記憶するためのファイル記憶手段と、データ変換装置ないし出力されたファイルにアクセスするためのアクセスデータを生成するための生成手段と、通信回線を介して、属性データに対応付けられる情報機器に、アクセスデータを送信するためのアクセスデータ送信手段とを備える。

【 0 0 2 7 】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、特定の利用者によるアクセス制限を設けることができるため、セキュリティを向上させることができる。このようにすると、秘密保持の要求が高いファイルを保護し易くなる。

【 0 0 2 8 】

好ましくは、出力手段は、通信回線を介して、属性データに対応付けられる情報機器に、出力されたファイルを縮小して表示するためのデータを出力するための送信手段を含む。

【 0 0 2 9 】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、送信手段が、そのファイルを縮小して表示するためのデータを情報機器に送信すると、情報機器は、そのデータに基づいて、縮小された画像を表示する。これにより、情報機器の利用者は、少ない通信量で変換後のファイルの概要を容易に認識することができる。

【 0 0 3 0 】

好ましくは、出力されたファイルは、複数のファイルを含む。送信手段は、複数のファイルの各々を縮小して表示するためのデータを出力する。データ変換装置はさらに、通信回線を介して、複数のファイルのいずれかの送信要求を受信するための受信手段を備える。送信手段は、送信要求に基づいて、属性データに対応付けられる情報機器に、ベクトルデータにより表現されるファイルを送信する。

【 0 0 3 1 】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、ベクトルデータにより表現されるファイルが選択的に情報機器に送信される。したがって、情報機器は、必要なファイルのみを受信して、そのファイルに基づいて、画像を明瞭に拡大して表示することができる。

【 0 0 3 2 】

好ましくは、データ変換装置はさらに、予め定められた方式に基づいて、出力されたファイルにアクセスするための認証情報の入力要求するメッセージを生成するための生成手段と、出力されたファイルに、メッセージを付加するための付加手段とを備える。出力手段は、メッセージが付加されたファイルを、属性データに対応付けられる情報機器に出力する。データ変換装置はさらに、属性データに対応付けられる情報機器の利用者により入力された入力情報を受信するための手段と、認証情報と入力情報とに基づいて、出力されたファイルへのアクセスを認証するための認証手段とを備える。

【 0 0 3 3 】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、セキュリティを維持しつつ、変換された

ファイルの存在を情報機器に通知することができるため、情報機器の利用者に、常に更新情報の存在を知らせることができる。

【0 0 3 4】

好ましくは、データ変換装置は、通信回線を介して印刷装置に接続される。出力手段は、出力されたファイルを、印刷装置に出力するための手段を含む。

【0 0 3 5】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、印刷装置の属性に依存することなく作成された元ファイルを印刷装置の属性データに従って変換することで、その内容を印刷装置に印刷させることができる。

【0 0 3 6】

好ましくは、変換手段は、元ファイルにおいて予め定められたデータの区切りごとに、元ファイルを変換する。

【0 0 3 7】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、元ファイルの変換によって生成されるファイルも、その区切り（たとえば、ページの区切り）ごとに生成されるため、情報機器の利用者は、その元ファイルの内容を容易に確認することができる。

【0 0 3 8】

好ましくは、データ変換装置はさらに、出力されたファイルが予め定められた条件を満足するか否かを確認するための確認手段を備える。第1のファイル変換手段は、出力されたファイルが予め定められた条件を満足しない場合に、元ファイルを変換する条件を変更するための条件変更手段と、変更された条件に基づいて、元ファイルを変換するための手段とを含む。

【0 0 3 9】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、ベクトルデータにより表現されるファイルへの変換では予め定められた条件を満たさない場合に、元ファイルはラスタデータに変換される。ラスタデータにより表現されるファイルは、予め定められた条件を満足するまで、幅や高さを変更したり、あるいは圧縮率を変更すること等により、繰り返し変換されるため、情報機器に確実に出力可能なファイルを生成することができる。

【0 0 4 0】

好ましくは、元ファイルを変換する条件は、元ファイルの圧縮率を含む。予め定められた条件は、出力されたファイルのサイズが予め定められたサイズを下回ることである。条件変更手段は、出力されたファイルのサイズが予め定められたサイズを上回る場合には、圧縮率を大きくする。

【0 0 4 1】

上記の構成を有するデータ変換装置によると、圧縮率を変更することにより、予め定められたサイズを超えないファイルが生成されるため、そのファイルの出力を確実にすることができる。

【0 0 4 2】

この発明の他の局面に従うと、データ変換方法は、少なくともレイアウト情報を有する元ファイルと、1ないし複数の情報機器の少なくとも1つの能力の内容を表わす属性データとを予め準備するステップと、属性データに基づいて、元ファイルを変換する変換ステップとを備える。変換ステップは、元ファイルに含まれるデータに基づく変換処理により、予め定められた第1のデータ形式で表現されるファイルを生成するステップと、元ファイルに含まれるデータに基づく変換処理により、予め定められた第2のデータ形式で表現されるファイルを生成するステップとを含む。前記データ変換方法は、さらに、属性データに対応付けられる情報機器に、変換ステップから出力されたファイルを出力するステップとを備える。

【0 0 4 3】

上記の構成を有するデータ変換方法によると、予め定められた第1のデータ形式で表現されるファイルと、予め定められた第2のデータ形式で表現されるファイルとが、少なく



ともレイアウト情報を有する元ファイルから生成される。そのファイルは、属性データに対応付けられる情報機器に出力される。このようにすると、その情報機器は、処理可能な機能に依存することなく、受信したファイルを適切に表示することができる。これにより、レイアウト情報を有するファイルを、情報機器におけるファイルの処理機能に依存することなく表示可能な形式のファイルに変換することができるデータ変換方法を提供することができる。

【0 0 4 4】

この発明の他の局面に従うと、プログラムは、コンピュータをデータ変換装置として機能させる。このプログラムはコンピュータに、少なくともレイアウト情報を有する元ファイルと、1ないし複数の情報機器の少なくとも1つの能力の内容を表わす属性データとを予め準備するステップと、属性データに基づいて、元ファイルを変換する変換ステップとを実行させる。変換ステップは、元ファイルに含まれるデータに基づく変換処理により、予め定められた第1のデータ形式で表現されるファイルを生成するステップと、元ファイルに含まれるデータに基づく変換処理により、予め定められた第2のデータ形式で表現されるファイルを生成するステップとを含む。さらに、このプログラムはコンピュータに、属性データに対応付けられる情報機器に、変換ステップから出力されたファイルを出力するステップとを実行させる。

【0 0 4 5】

上記の構成を有するプログラムがコンピュータによって実行されると、予め定められた第1のデータ形式で表現されるファイルと、予め定められた第2のデータ形式で表現されるファイルとが、少なくともレイアウト情報を有する元ファイルから生成される。そのファイルは、属性データに対応付けられる情報機器に出力される。このようにすると、その情報機器は、処理可能な機能に依存することなく、受信したファイルを適切に表示することができる。これにより、レイアウト情報を有するファイルを、情報機器におけるファイルの処理機能に依存することなく表示可能な形式のファイルに変換することができるデータ変換装置としてコンピュータを機能させることができる。

【0 0 4 6】

この発明のさらに他の局面に従うと、記録媒体は、コンピュータをデータ変換装置として機能させるプログラムを格納した、コンピュータ読取可能な記録媒体である。

【0 0 4 7】

上記の構成を有するプログラムを格納した記録媒体がコンピュータに装着されると、そのコンピュータは、レイアウト情報を有するファイルを、情報機器におけるファイルの処理機能に依存することなく表示可能な形式のファイルに変換することができるデータ変換装置として機能することができる。

【発明の効果】

【0 0 4 8】

本発明に係るデータ変換装置によると、レイアウト情報を有するファイルは、携帯通信端末、印刷装置その他の情報機器に応じて変換されるため、その情報機器の利用者は、その文書データを閲覧するために特別なアプリケーションを使用することなく、そのファイルの内容を参照することができる。

【0 0 4 9】

本発明に係るデータ変換方法によると、レイアウト情報を有するファイルは、携帯通信端末、印刷装置その他の情報機器に応じて変換されるため、その情報機器の利用者は、その文書データを閲覧するために特別なアプリケーションを使用することなく、そのファイルの内容を参照することができる。

【0 0 5 0】

本発明に係るプログラムによると、コンピュータは、レイアウト情報を有するファイルを、情報機器におけるファイルの処理機能に依存することなく表示可能な形式のファイルに変換することができるデータ変換装置として機能する。したがって、このコンピュータによって変換されたファイルを受信した利用者は、特別なアプリケーションを使用するこ



となく、そのファイルの内容を閲覧することができる。

#### 【0051】

本発明に係る記録媒体によると、レイアウト情報を有するファイルを、情報機器におけるファイルの処理機能に依存することなく表示可能な形式のファイルに変換することができるデータ変換装置としてコンピュータを機能させることができる。

#### 【発明を実施するための最良の形態】

#### 【0052】

以下、図面を参照しつつ、本発明の実施の形態について説明する。以下の説明では、同一の部品には同一の符号を付してある。それらの名称および機能も同じである。したがって、それらについての詳細な説明は繰り返さない。

#### 【0053】

##### <第1の実施の形態>

図1を参照して、本発明の第1の実施の形態に係るデータ変換装置100について説明する。図1は、データ変換装置100が使用される通信システムを概略的に表わす図である。

#### 【0054】

図1に示すように、データ変換装置100は、制御部110と、登録者DB(Database)120と、メールDB130と、ドキュメントDB140とを含む。制御部110は、メール受信エージェント112と、メール送信エージェント114と、WEBサーバ&WEBメールエージェント116と、ドキュメント変換エンジン118とを含む。

#### 【0055】

このデータ変換装置100は、ネットワーク192を介してメールサーバ182に接続される。データ変換装置100は、同様にネットワーク194、196を介してGW(Gateway)サーバ186に接続される。メールサーバ182は、ネットワーク188を介して情報通信端末180に接続される。この情報通信端末180は、たとえばPC(Personal Computer)を含むが、これに限られず、通信機能を有する情報処理装置であればよい。GWサーバ186は、ネットワーク198を介して携帯通信端末170に接続される。この携帯通信端末170には、たとえば携帯電話機、あるいはPDA(Personal Digital Assistant)等が含まれるが、これに限られない。なお、各ネットワークは、一般の公衆の通信回線でもよいし、LAN(Local Area Network)のような特定の組織内で使用される専用回線であってもよい。

#### 【0056】

上記のような通信環境を有するシステムにおいて、情報通信端末180の利用者が電子メールを作成して、その電子メールに文書ファイル等のレイアウト情報を有するファイルを添付してメールアドレス「〇〇@abc.ne.jp」に送信すると、その電子メールは、メールサーバ182を介してデータ変換装置100に受信される。

#### 【0057】

なお、ここでレイアウト情報とは、文書全体の大きさや各部の大きさや位置だけでなく、文字の色や装飾、フォントの種類のような書式情報を含むものとする。また、このレイアウト情報を含む文書ファイルは、たとえば、エディタ装置等によって作成される文書、表計算機能を有するPC等の処理装置によって作成される表などを含む。

#### 【0058】

データ変換装置100において、制御部110のメール受信エージェント112が通信IF(Interface)(図示しない)を介してその電子メールを受信すると、メール受信エージェント112は、メールDB130にメールの本文を格納する。メール受信エージェント112は、さらに添付ファイルをドキュメントDB140に格納する。

#### 【0059】

ドキュメント変換エンジン118は、登録者DB120に格納されている属性情報に基づいて、添付ファイルを予め定められたデータ形式に変換する。ドキュメント変換エンジン118が生成したファイルは、ドキュメントDB140に再び格納される。

**【0060】**

メール送信エージェント 114 は、予め定められた書式に基づいて、情報通信端末 180 から携帯通信端末 170 への電子メールが送信されていることを通知する情報を生成する。メール送信エージェント 114 は、この情報を「△△@t e s t . n e t」を宛先とする電子メールとしてメールサーバ 184 に送信する。メールサーバ 184 は、このメールを携帯通信端末 170 に転送する。なお、予め定められた書式には、差出人のメールアドレスやメール本文が含まれてもよいし、添付ファイルが変換されたデータがある場合にその変換したデータへアクセスするための URL (Uniform Resource Locators) が含まれてもよい。

**【0061】**

携帯通信端末 170 の利用者が、ネットワーク 198 を介して GWサーバ 186 にアクセスすると、ドキュメント DB 140 に格納されている変換ファイルが読出されて閲覧することができる。このとき、必要があれば携帯通信端末 170 の属性情報を登録者 DB 120 に更新させるようにしてもよい。

**【0062】**

図 2 を参照して、本実施の形態に係るデータ変換装置 100 の登録者 DB 120 におけるデータ構造について説明する。図 2 は、登録者 DB 120 に格納されるデータの構造を概念的に表わす図である。ここで、登録者 DB 120 は、たとえばハードディスクその他の比較的大容量の記憶装置である。

**【0063】**

図 2 に示すように、ユーザ ID (Identification) は、フィールド F 210 に格納される。各携帯通信端末のユーザのパスワードは、フィールド F 220 に格納される。各ユーザが使用する携帯通信端末のシリアル ID は、フィールド F 230 に格納される。このシリアル ID は、たとえば携帯通信端末の製造番号であるが、これに限られない。

**【0064】**

端末メールアドレスは、フィールド F 240 に格納される。このような情報は、データ変換装置 100 にアクセスしようとする携帯通信端末の利用登録時に予め登録しておいてもよい。あるいは、前述したように、携帯通信端末への電子メールの着信を受けて利用者がアクセスしようとするときに、その都度、利用者に情報を入力するようにしてもよい。なお、この端末メールアドレスの形式は、電子メールアドレス以外のアドレス、たとえば、IP (Internet Protocol) アドレスであってもよい。たとえば、図 2 において、「p r i n t e r 0 0 1」の ID を有するプリンタのアドレスは、電子メール形式のアドレスであるが、このプリンタが使用されるネットワーク環境において定められたネットワークアドレスであってもよい。

**【0065】**

発信先メールアドレスは、フィールド F 250 に格納される。このアドレスは、電子メールの送信者がその電子メールの送信先に指定するアドレスである。図 1 を再び参照して、このアドレスは、たとえば情報通信端末 180 の利用者が電子メールをする場合におけるメールサーバ 182 に有するアドレス「〇〇@a b c . n e . j p」に相当する。なお、登録者 DB 120 におけるデータ構造の態様は、図 2 に示したものに限られない。

**【0066】**

図 3 を参照して、本実施の形態に係るデータ変換装置 100 のメール DB 130 におけるデータ構造について説明する。図 3 は、データ変換装置 100 のメール DB 130 が記憶する通信情報の構造を概念的に表わす図である。この通信情報には、たとえば電子メールが含まれる。

**【0067】**

図 3 に示すように、受取人のメールアドレスは、フィールド F 310 に格納される。電子メールの差出人のアドレスは、フィールド F 320 に格納される。電子メールの送信日時を表わすデータは、フィールド F 330 に格納される。電子メールの件名を表わすデータは、フィールド F 340 に格納される。ここで、件名とは、たとえば電子メールの本文

の前に付けられる見出し情報をいう。電子メールの本文は、フィールド F 3 5 0 に格納される。この本文のデータは、予め定められた容量（たとえば数百キロバイト）以下である。ファイル保存先を表わすデータは、フィールド F 3 6 0 に格納される。この保存先は、電子メールに添付されているファイルのデータが格納されているアドレスを含む。なお、ファイルが添付されていない通信情報に関しては、その旨を表わすデータ、たとえば「NULL」が格納される。

#### 【0 0 6 8】

図 3 に示したデータ構造は、あくまで概念的なものであってデータ構造の態様はこれに限られない。また、たとえばフィールド F 3 5 0 に格納される電子メールの本文データに代えて、フィールド F 3 6 0 に格納されるようなアドレス情報を同様に格納してもよい。この場合、その参照先となるデータを別の領域に格納しておくことにより、メールの本文データを容易に特定して参照することができる。

#### 【0 0 6 9】

図 4 を参照して、本実施の形態に係るデータ変換装置 1 0 0 のドキュメント DB 1 4 0 におけるデータ構造について説明する。図 4 は、電子メールに添付されているファイルが格納される態様を表わす図である。データ領域 D 4 1 0 ~ D 4 4 0 は、電子メールに添付されているファイルが格納されている領域を表わす。

#### 【0 0 7 0】

図 4 に示すように、たとえば「文書 1. TEXT」というファイルは、アドレス「1 0 0 0」と「1 0 1 0」との間のデータ領域 D 4 1 0 に格納される。同様に、ファイル「文書 2. TEXT」は、アドレス「1 0 1 0」と「1 1 0 0」との間のデータ領域 D 4 2 0 に格納される。このようなアドレス情報は、たとえば制御部 1 1 0 のメール受信エージェント 1 1 2 が電子メールを受信して、添付ファイルを保存するときに、予め定められた基準に基づいて生成される。このアドレスは、たとえばドキュメント DB 1 4 0 の空き領域順に生成される場合もあれば、ファイルの種類ごとに予め設定されたデータ領域に格納されるように生成される場合もある。この場合、添付ファイルの管理を容易にすることができる。なお、ファイルが格納される態様は、図 4 に示したものに限られない。

#### 【0 0 7 1】

図 5 を参照して、本実施の形態に係るデータ変換装置 1 0 0 のドキュメント DB 1 4 0 におけるデータ構造について、さらに説明する。図 5 (A) は、電子メールに添付されていたファイル「資料 1. DOC」に関し、データ変換前におけるデータの格納の態様を概念的に表わす図である。図 5 (B) および (C) は、そのファイル「資料 1. DOC」に関し、データ変換後におけるデータの格納の態様を概念的に表わす図である。

#### 【0 0 7 2】

図 5 (A) に示すように、たとえば添付ファイル「資料 1. DOC」がたとえば 1 0 ページにわたる文書データである場合、1 0 ページ分のデータがドキュメント DB 1 4 0 に格納される。なお、図 5 (A) の図は、複数ページを有するファイルは、後述する変換処理の前に予めページごとに分割されていることが不可欠であることを示すものではない。この場合、添付ファイルは、後述する変換処理の前に予めページごとに分割して記録されていてもよいし、分割されることなく、1 ファイルのまま記録されていてもよい。

#### 【0 0 7 3】

また、このページとは、たとえばデータ変換装置 1 0 0 が実行する文書編集プログラムごとに予め設定されたページでもよいし、そのようなプログラムに依存することなく、データ変換装置 1 0 0 において予め設定されたページであってもよい。

#### 【0 0 7 4】

後述する予め定められた処理によりデータ変換が実行されると、添付ファイル「資料 1. DOC」は、図 5 (B) に示すように、各ページについてそれぞれデータ変換されたファイルが生成される。図 5 (B) の場合、変換前の添付ファイル「資料 1. DOC」のページ数が 1 0 ページであるため、データ変換後のファイルは、各ページごとにそれぞれ生成される。



## 【0 0 7 5】

また、本実施の形態に係るデータ変換装置 1 0 0 は、複数のデータ変換機能を予め有している場合がある。この場合、各変換機能ごとにファイルが生成されるため、たとえば図 5 (C) に示すように、図 5 (B) に示したファイルの形式と異なるデータ形式を有するファイルがそれぞれ生成される。

## 【0 0 7 6】

ここで、ファイルを変換する態様には、たとえばビットマップその他のラスタデータに基づいて表現されるファイルに変換する態様、あるいはベクトルデータに基づいて表現されるファイルに変換する態様等が含まれる。ラスタデータに基づく変換の態様には、たとえば J P E G (Joint Photographic Experts Group) 方式が含まれる。ベクトルデータに基づく変換の態様には、たとえば S V G (Scalable Vector Graphics) 方式が含まれる。なお、ファイルの変換態様は、上記の態様に限られず、概略イメージが分かるファイルを生成することができる変換態様、幾何学的な図形要素等を含むファイル、あるいは、より特定の態様には、拡大時にも情報が明瞭に認識され得るファイルを生成することができる変換態様であればよい。

## 【0 0 7 7】

図 6 を参照して、本実施の形態に係るデータ変換装置 1 0 0 を実現するコンピュータシステム 6 0 0 について説明する。図 6 は、コンピュータシステム 6 0 0 のハードウェア構成を表わすブロック図である。

## 【0 0 7 8】

図 6 に示すように、このコンピュータシステム 6 0 0 は、相互にデータバスで接続された C P U (Central Processing Unit) 6 1 0 と、R A M (Random Access Memory) 6 2 0 と、固定ディスク 6 3 0 と、F D (Flexible Disk) 駆動装置 6 4 0 と、C D - R O M (Compact Disk-Read Only Memory) 駆動装置 6 5 0 と、通信 I F 6 6 0 とを含む。F D 駆動装置 6 4 0 には、F D 6 4 2 が装着される。C D - R O M 駆動装置 6 5 0 には、C D - R O M 6 5 2 が装着される。

## 【0 0 7 9】

C P U 6 1 0 は、図 1 に示したデータ変換装置 1 0 0 における制御部 1 1 0 として機能する。固定ディスク 6 3 0 は、データ変換装置 1 0 0 における登録者 D B 1 2 0、メール D B 1 3 0、あるいはドキュメント D B 1 4 0 として機能する。したがって、固定ディスク 6 3 0 は、たとえば 1 つのハードディスク装置として構成されてもよいし、複数のハードディスク装置あるいは複数のパーティションにより区切られたハードディスク装置として構成されてもよい。また、このように固定ディスク 6 3 0 を内蔵するコンピュータシステムに代えて、データを格納するためのデータ記憶装置として外部接続される D B サーバ、ファイルサーバ等のサーバ装置であってもよい。

## 【0 0 8 0】

C P U 6 1 0 は、予め処理が設定されたプログラムが実行されると、制御部 1 1 0 のメール受信エージェント 1 1 2、メール送信エージェント 1 1 4、W E B サーバアンド W E B メール 1 1 6、およびドキュメント変換エンジン 1 1 8 として処理を実行する。この処理の手順および具体的内容は、後述する。

## 【0 0 8 1】

このようにして、データ変換装置 1 0 0 を実現するコンピュータシステム 6 0 0 における処理は、各ハードウェアおよび C P U 6 1 0 により実行されるソフトウェアによって実現される。このようなソフトウェアは、R A M 6 2 0 あるいは固定ディスク 6 3 0 に予め記憶されている場合がある。あるいは、F D 6 4 2、C D - R O M 6 5 2 その他の記録媒体に格納されて流通し、F D 駆動装置 6 4 0 あるいは C D - R O M 駆動装置 6 5 0 によりその記録媒体から読取られて、固定ディスク 6 3 0 に一旦格納される場合もある。そのソフトウェアは、固定ディスク 6 3 0 から読出されて、C P U 6 1 0 によって実行される。図 6 に示したコンピュータシステム 6 0 0 のハードウェア自体は、一般的なものである。したがって、本発明の最も本質的な部分は、R A M 6 2 0、固定ディスク 6 3 0、F D 6



4 2、C D - R O M 6 5 2 その他の記録媒体に記録されたソフトウェアであるともいえる。なお、このコンピュータシステム 6 0 0 の各ハードウェアの動作は周知であるので、ここではその説明は繰返さない。

#### 【 0 0 8 2 】

図 7 を参照して、本実施の形態に係るデータ変換装置 1 0 0 に接続する携帯通信端末 1 7 0 に表示される画面について説明する。図 7 ( A ) ~ ( G ) はそれぞれ、携帯通信端末 1 7 0 のモニタ 1 7 2 に表示される画面を表わす図である。

#### 【 0 0 8 3 】

情報通信端末 1 8 0 の利用者が、ファイルを添付した電子メールを携帯通信端末 1 7 0 のメールアドレスに送信すると、データ変換装置 1 0 0 によって生成された転送メールのメッセージが携帯通信端末 1 7 0 に送信される。このメッセージは、モニタ 1 7 2 に表示される ( 図 7 ( A ) ) 。

#### 【 0 0 8 4 】

携帯通信端末 1 7 0 の利用者が表示された U R L にアクセスすると、データ変換装置 1 0 0 が予め定められた基準に基づいて生成したデータに応じて、利用者を認証するための画面が、モニタ 1 7 2 に表示される ( 図 7 ( B ) ) 。この画面には、利用者に対しパスワードの入力を促すメッセージとパスワードの入力のための領域とが表示される。

#### 【 0 0 8 5 】

利用者が、予め登録したパスワードを入力してログインの表示部を押下すると、そのパスワードが正当なパスワードであると認証された場合には、携帯通信端末 1 7 0 の利用者 ( たとえば〇〇さん ) のメール一覧表がモニタ 1 7 2 に表示される ( 図 7 ( C ) ) 。図 7 ( C ) においてモニタ 1 7 2 における一覧の表示は、たとえば図 3 に示したようにデータ変換装置 1 0 0 のメール D B 1 3 0 に格納されるデータに基づいて行なわれる。

#### 【 0 0 8 6 】

利用者が、モニタ 1 7 0 に示された一覧表から閲覧しようとするメールの件名を選択し、予め定められた選択の決定の入力 ( たとえば、特定のボタンの押下 ) を行なうと、その件名に応じた本文が表示される ( 図 7 ( D ) ) 。携帯通信端末 1 7 0 の利用者が選択した電子メールには、添付ファイルが含まれているため、たとえば添付リスト 7 1 0 の形式でモニタ 1 7 2 に示される。

#### 【 0 0 8 7 】

利用者が、添付リスト 7 1 0 に含まれるファイルを選択して押下すると、その添付ファイルの各ページが、小さな画像としてモニタ 1 7 2 に表示される ( 図 7 ( E ) ) 。この画像の表示は、データ変換装置 1 0 0 のドキュメント D B 1 4 0 に格納されている画像のデータに基づいて行なわれる。この画像は、データ変換後の各ファイルにそれぞれ対応付けて生成された画像である。

#### 【 0 0 8 8 】

利用者が、その表示から閲覧しようとする表示を選択すると、選択されたファイルの表示がモニタ 1 7 2 の枠内で拡大されて表示される ( 図 7 ( F ) ) 。この表示は、たとえば、予め定められた基準に基づいて圧縮された J P E G 形式、あるいは S V G 形式により表わされたデータに基づいて行なわれる。

#### 【 0 0 8 9 】

また、利用者が表示された一覧表から受信を希望するファイルを選択して所定の動作、たとえばファイルのダウンロード処理、を実行すると、選択されたファイルはデータ変換装置 1 0 0 のドキュメント D B 1 4 0 から読み出されて、携帯通信端末 1 7 0 に送信される。この場合、各ファイルは、携帯通信端末 1 7 0 の属性データに応じて変換されたデータであるため、携帯通信端末 1 7 0 は、支障なくそのファイルを受信することができる。受信されたファイルは、たとえば U R L とともに、モニタ 1 7 2 に表示される ( 図 7 ( G ) ) 。

#### 【 0 0 9 0 】

図 8 を参照して、データ変換装置 1 0 0 を介して通信される電子メールの構成について

説明する。図 8 は、電子メールのデータ構造を概念的に表わす図である。

【0091】

図 8 において、データ列 8 1 0（すなわち「multipart/mixed」）は、複数のパーツが一緒に送られていることを意味する。データ列 8 2 0（すなわち「boundary」）は、電子メールの本文や添付データの区切りを表わす文字列であることを意味する。データ列 8 3 0 は、それぞれデータ列 8 2 0 と同じ文字列を含んでいる。このデータ列 8 3 0 は、したがって、この部分でデータが区切られることを表わす。データ列 8 4 0（すなわち、「text/plain」）は、単なるテキストであることを意味する。

【0092】

データ列 8 5 0（すなわち、「image/jpeg」）は、画像が J P E G 形式の画像であることを意味する。データ列 8 6 0（すなわち、「sample.jpg」）は、具体的なファイル名を表わす。なお、この場合、複数のデータ列 8 6 0 に関し、実際に読み込みの対象となるデータ列 8 6 0 は、そのファイルを読み込むアプリケーションによって異なる。データ列 8 7 0（すなわち、「base64」）は、base 6 4 にてバイナリが符号化されていることを意味する。データ列 8 8 0（すなわち「attachment」）は、ファイルが単に添付されていることを表わす。データ列 8 9 0 は、J P E G 画像データのバイナリ列を表わす。このデータは、上述したように、base64 によって符号化されている。

【0093】

このようにして、図 8 に示した電子メールには、後述する変換処理に必要な属性データを表わすデータ列が含まれている。したがって、データ変換装置 1 0 0 は、そのデータ列から、変換処理に応じて、その電子メールに添付されているファイルの名称、種類、符号化の態様、符号化されたファイルのデータ、符号化の態様その他の属性データを使用することができる。

【0094】

図 9 を参照して、J P E G 画像データのバイナリ列の一例について説明する。図 9 は、そのデータのバイナリ列のヘッダ部の一部を概念的に表わした図である。

【0095】

J P E G の一般的なフォーマットには、たとえば J F I F（J P E G Format Interchange Format）がある。この場合、図 9 に示すように、バイナリ列は、「FFD8」で開始される。したがって、この場合、添付されているファイルが J P E G 形式のファイルであるか否かを判断するために、たとえば、データの先頭 2 バイトが、「0 x FF」および「0 x D8」であるか否かを確認してもよい。あるいは、添付ファイルが圧縮されている場合に、そのファイルの復元処理（いわゆる解凍処理）を実行する場合に、そのファイルのデータが、J P E G 形式のデータとして問題ないか否かを判定するようにしてもよい。

【0096】

図 1 0 を使用して、本発明の第 1 の実施の形態に係るデータ変換装置 1 0 0 の制御構造について説明する。図 1 0 は、データ変換装置 1 0 0 の制御部 1 1 0 が実行する処理の手順を表わすフローチャートである。

【0097】

ステップ S 1 0 0 2 にて、制御部 1 1 0 のメール受信エージェント 1 1 2 は、情報通信端末 1 8 0 から送信されたメールを受信する。

【0098】

ステップ S 1 0 0 4 にて、制御部 1 1 0 は、受信メールにファイルが添付されているか否かを判断する。この判断は、受信した電子メールのヘッダ情報を参照することにより行なわれる（たとえば、図 8 におけるデータ列 8 6 0, 8 8 0）。ファイルが添付されている場合には（ステップ S 1 0 0 4 にて Y E S）、処理はステップ S 1 0 0 6 に移される。そうでない場合には（ステップ S 1 0 0 4 にて N O）、処理はステップ S 1 0 3 0 に移される。

【0099】

ステップ S 1 0 0 6 にて、制御部 1 1 0 は、電子メールの送信先（転送先）の機器の属

性を判定する。この判定は、たとえば登録者 DB 1 2 0 に予め登録されているデータに基づいて行なわれる。あるいは、電子メールに含まれる情報（たとえば、送信先アドレス）に基づいて、その機器の属性を判定してもよい。

**【0 1 0 0】**

ステップ S 1 0 0 8 にて、制御部 1 1 0 は、メールに添付されているファイルのデータ変換が必要であるか否かを判断する。この判断は、たとえばステップ S 1 0 0 6 にて判定した機器の属性あるいは、添付されているファイルの属性に基づいて行なわれる。ファイルのデータ変換が必要であると判断すると（ステップ S 1 0 0 8 にて YES）、処理はステップ S 1 1 0 0 に移される。そうでない場合には（ステップ S 1 0 0 8 にて NO）、処理はステップ S 1 0 2 0 に移される。

**【0 1 0 1】**

ステップ S 1 1 0 0 にて、制御部 1 1 0 は、後述する変換処理を実行する。この処理が実行されると、受信メールに添付されていたファイルは、予め定められたデータ形式を有するファイルに変換され、ドキュメント DB 1 4 0 に格納される。

**【0 1 0 2】**

ステップ S 1 0 1 2 にて、制御部 1 1 0 は、変換処理により生成されたファイルの格納位置の情報（たとえば URL）を含む着信メッセージを作成する。

**【0 1 0 3】**

ステップ S 1 0 1 4 にて、制御部 1 1 0 のメール送信エージェント 1 1 4 は、着信メッセージを送信先の機器に送信する。

**【0 1 0 4】**

ステップ S 1 0 2 0 にて、制御部 1 1 0 は、受信メールに添付されていたファイルのデータ変換を実行することなく、そのファイルをドキュメント DB 1 4 0 に格納する。すなわち、この処理は、ファイルの無変換処理とみなすことができる。

**【0 1 0 5】**

ステップ S 1 0 2 2 にて、制御部 1 1 0 のメール送信エージェント 1 1 4 は、情報通信端末 1 8 0 から受信したメールを送信先の携帯通信端末 1 7 0 に送信する。

**【0 1 0 6】**

ステップ S 1 0 3 0 にて、制御部 1 1 0 のメール送信エージェント 1 1 4 は、指定された送信先（たとえば携帯通信端末 1 7 0）にメールをそのまま転送する。

**【0 1 0 7】**

図 1 1 を参照して、データ変換装置 1 0 0 の制御構造についてさらに説明する。図 1 1 は、データ変換装置 1 0 0 の制御部 1 1 0 が実行する変換処理の手順を表わすフローチャートである。

**【0 1 0 8】**

ステップ S 1 1 0 2 にて、制御部 1 1 0 は、ファイル解析機能を選択する。この選択は、たとえば添付ファイルの属性（そのファイルが文書ファイルであるか否か、あるいは表計算データを格納したファイルであるか否かなど）を参照して行なわれる。

**【0 1 0 9】**

ステップ S 1 1 0 4 にて、制御部 1 1 0 は、選択したファイル解析機能に基づいて、受信メールに添付されていたファイルを解析する。この解析により、添付ファイルのデータは、予め定められた 1 ページ分のデータに構成される。

**【0 1 1 0】**

ステップ S 1 1 0 6 にて、制御部 1 1 0 は、そのファイルにおいてページの区切りを検出したか否かを判断する。ページの区切りを検出した場合には（ステップ S 1 1 0 6 にて YES）、処理はステップ S 1 1 0 8 に移される。そうでない場合には（ステップ S 1 1 0 6 にて NO）、処理はステップ S 1 1 0 4 に戻される。

**【0 1 1 1】**

ステップ S 1 1 0 8 にて、制御部 1 1 0 は、予め定められた第 1 の変換処理を実行する。この第 1 の変換処理は、たとえば概略イメージがわかるような変換であって圧縮率が高



い変換が好ましい。この処理には、たとえば、元のファイルを J P E G 形式で表現されるファイルに変換する処理が含まれる。なお、この処理は、さらにエラー処理を実行するステップを含んでもよい。たとえば、予め設定された条件を満足するようにファイルを圧縮する処理ができない場合には、変換不能としてユーザに通知するようにしてもよい。

【0 1 1 2】

ステップ S 1 1 1 0 にて、制御部 1 1 0 は、予め定められた第 2 の変換処理を実行する。この第 2 の変換処理は、たとえば画像を拡大して表示した場合でも、画像の中の情報が明瞭に表示されるものが好ましい。なお、ステップ S 1 1 0 8 と同様に、さらにエラー処理を実行するステップを含んでもよい。この処理には、たとえば S V G 形式その他のベクトルデータに基づく変換処理が含まれる。このような処理により生成されたデータ形式を有するファイルは、そのファイルの画像等の情報の表示を拡大すると、その情報は、ベクトルデータによって表現されるため、その情報は明瞭に表示される。

【0 1 1 3】

ステップ S 1 1 1 2 にて、制御部 1 1 0 は、ファイルの終了部を検出したか否かを判断する。ファイルの終了部を検出した場合には（ステップ S 1 1 1 2 にて Y E S）、処理はステップ S 1 1 1 4 に移される。そうでない場合には（ステップ S 1 1 1 2 にて N O）、処理はステップ S 1 1 0 4 に戻される。

【0 1 1 4】

ステップ S 1 1 1 4 にて、制御部 1 1 0 のドキュメント変換エンジン 1 1 8 は、第 1 の変換処理により生成したファイルをドキュメント D B 1 4 0 に格納する。

【0 1 1 5】

ステップ S 1 1 1 6 にて、制御部 1 1 0 のドキュメント変換エンジン 1 1 8 は、第 2 の変換処理により生成したファイルをドキュメント D B 1 4 0 に格納する。

【0 1 1 6】

図 1 2 を参照して、データ変換装置 1 0 0 の制御構造についてさらに説明する。図 1 2 は、データ変換装置 1 0 0 の制御部 1 1 0 がメールの送信先である機器からアクセスを受けた場合に実行する処理の手順を表わすフローチャートである。

【0 1 1 7】

ステップ S 1 2 0 2 にて、制御部 1 1 0 は、着信メッセージを受信した携帯通信端末 1 7 0 からのアクセスを検知する。たとえば、携帯通信端末 1 7 0 の利用者が、着信メッセージに表示された U R L その他の位置データへの接続処理を実行した場合に、携帯通信端末 1 7 0 から所定の情報が送信される。データ変換装置 1 0 0 がこの情報を受信すると、携帯通信端末 1 7 0 によるアクセスが検知される。

【0 1 1 8】

ステップ S 1 2 0 4 にて、制御部 1 1 0 は、パスワードの入力要求をその機器に送信する。ステップ S 1 2 0 6 にて、制御部 1 1 0 は、パスワードの入力を検知する。

【0 1 1 9】

ステップ S 1 2 0 8 にて、制御部 1 1 0 は、機器の認証が成功したか否かを判断する。この判断は、たとえば予め定められた記憶されているパスワードと、ステップ S 1 2 0 6 にて検知したパスワードとを比較することにより行なわれる。機器の認証が成功したと判断すると（ステップ S 1 2 0 8 にて Y E S）、処理はステップ S 1 2 1 0 に移される。そうでない場合には（ステップ S 1 2 0 8 にて N O）、処理はステップ S 1 2 0 4 に戻される。

【0 1 2 0】

ステップ S 1 2 1 0 にて、制御部 1 1 0 は、メールの一覧表データを機器に送信する。携帯通信端末 1 7 0 がこのデータを受信すると、そのモニタ 1 7 2 は、一覧表を表示する（たとえば図 7（C））。

【0 1 2 1】

ステップ S 1 2 1 2 にて、制御部 1 1 0 は、その機器から選択されたメールを識別する情報を受信する。この情報は、携帯通信端末 1 7 0 の利用者が一覧表から特定のメールを



選択する処理を実行した場合に、送信される。なお、このような送信の態様は、特に限られず、一覧表における選択に応答してその選択情報が送信される態様であればよい。

【0 1 2 2】

ステップ S 1 2 1 4 にて、制御部 1 1 0 は、選択されたメールについて変換されたファイルの縮小画像データを送信する。

【0 1 2 3】

ステップ S 1 2 1 6 にて、制御部 1 1 0 は、画像データへのアクセスを検知したか否かを判断する。画像データへのアクセスを検知した場合には（S 1 2 1 6 にて Y E S）、処理はステップ S 1 2 1 8 に移される。そうでない場合には（ステップ S 1 2 1 6 にて N O）、処理はステップ S 1 2 2 0 に移される。

【0 1 2 4】

ステップ S 1 2 1 8 にて、制御部 1 1 0 は、画像の拡大表示のためのデータをその機器に送信する。このデータは、たとえば S V G 形式で画像を表示するためのデータであるが、その他のデータ形式であってもよい。

【0 1 2 5】

ステップ S 1 2 2 0 にて、制御部 1 1 0 は、画像データの送信要求を検知したか否かを判断する。画像データの送信要求を検知した場合には（ステップ S 1 2 2 0 にて Y E S）、処理はステップ S 1 3 0 0 に移される。そうでない場合には（ステップ S 1 2 2 0 にて N O）、処理はステップ S 1 2 3 0 に移される。

【0 1 2 6】

ステップ S 1 2 3 0 にて、制御部 1 1 0 は、予め定められた処理を実行する。この処理には、特定の処理を実行することなく画像データを携帯通信端末 1 7 0 に送信する処理が含まれる。

【0 1 2 7】

ステップ S 1 3 0 0 にて、制御部 1 1 0 は、後述するページ合成処理を実行する。この処理が実行されると、機器の利用者により選択された特定のページがマージされたファイルが生成され、そのファイルはその機器に送信される。ここで、マージとは、選択されたページを合成して、1つのファイルを生成する処理をいう。この処理では、たとえば、選択されたページの番号の昇順に合成される。なお、このマージの処理の態様は、特に限られない。

【0 1 2 8】

図 1 3 を参照して、データ変換装置 1 0 0 の制御構造について、さらに説明する。図 1 3 は、データ変換装置 1 0 0 の制御部 1 1 0 が実行するページ合成処理の手順を表わすフローチャートである。

【0 1 2 9】

ステップ S 1 3 0 2 にて、制御部 1 1 0 は、送信先の機器の属性を判定する。ステップ S 1 3 0 4 にて、制御部 1 1 0 は、その機器に対する送信可能データ量を取得する。このデータ量は、たとえば予め登録者 D B 1 2 0 に格納されているデータであるが、予め格納されていなくてもよい。たとえば、処理の開始時に、そのデータ量を取得する処理を実行することにより、送信可能データ量を取得してもよい。

【0 1 3 0】

ステップ S 1 3 0 6 にて、制御部 1 1 0 は、ページのカウンタ C N T を初期化する。ステップ S 1 3 0 8 にて、制御部 1 1 0 は、カウンタ C N T の示すページのデータ量を取得する。

【0 1 3 1】

ステップ S 1 3 1 0 にて、取得したデータ量が送信可能データ量よりも多いか否かを判断する。取得したデータ量が送信可能データ量よりも多い場合には（ステップ S 1 3 1 0 にて Y E S）、処理はステップ S 1 3 2 0 に移される。そうでない場合には（ステップ S 1 3 1 0 にて N O）、処理はステップ S 1 3 1 2 に移される。

【0 1 3 2】

ステップ S 1 3 1 2 にて、制御部 1 1 0 は、ページのマージ処理を実行する。ここでマージ処理とは、上述したように、予め設定された手順に基づいて、選択されたページのデータを結合して、1つのファイルを生成する処理をいう。ステップ S 1 3 1 4 にて、制御部 1 1 0 は、カウンタ C N T の値を 1 カウントアップする。

【0 1 3 3】

ステップ S 1 3 2 0 にて、制御部 1 1 0 は、カウンタ C N T の値が「1」であるか否かを判断する。カウンタ C N T の値が「1」である場合には（ステップ S 1 3 2 0 にて Y E S）、処理はステップ S 1 3 2 2 に移される。そうでない場合には（ステップ S 1 3 2 0 にて N O）、処理はステップ S 1 3 2 4 に移される。

【0 1 3 4】

ステップ S 1 3 2 2 にて、制御部 1 1 0 は、エラーメッセージを機器に送信する。このエラーメッセージは、たとえば予め定められたメッセージであって、たとえばページの合成が失敗したことを通知するメッセージを含む。

【0 1 3 5】

ステップ S 1 3 2 4 にて、制御部 1 1 0 は、マージ処理されたファイルを機器に送信する。

【0 1 3 6】

以上のような構造及びフローチャートに基づく、本実施の形態に係るデータ変換装置 1 0 0 の動作について説明する。以下では、ファイルが添付されたメールの着信を通知する動作と、その通知に応答してファイルを送信する動作とに分けて、説明する。

【0 1 3 7】

[通知動作]

データ変換装置 1 0 0 がメールを受信すると（ステップ S 1 0 0 2）、ファイルが添付されている場合には（ステップ S 1 0 0 4 にて Y E S）、メールの送信先の機器の属性が判定される（ステップ S 1 0 0 6）。データ変換装置 1 0 0 がデータ変換は必要であると判断すると（ステップ S 1 0 0 8 にて Y E S）、データ変換装置 1 0 0 は変換処理を開始する（ステップ S 1 1 0 0）。

【0 1 3 8】

データ変換装置 1 0 0 は、メールに添付されているファイルの属性データに基づいて選択したファイル解析機能を使用して、そのファイルを解析する（ステップ S 1 1 0 4）。この解析の結果、予め設定されたページの区切りが検出されると（ステップ S 1 1 0 6）、第 1 の変換処理（たとえば J P E G のデータ形式によって表わされるファイルへの変換処理）と第 2 の変換処理（たとえば S V G 形式によって表わされるファイルへの変換処理）とが実行される（ステップ S 1 1 0 8、S 1 1 1 0）。変換の対象となるファイルの最後まで変換すると（ステップ S 1 1 1 2 にて Y E S）、変換によって生成された各ファイルは、ドキュメント D B 1 4 0 に格納される（ステップ S 1 1 1 4、S 1 1 1 6）。

【0 1 3 9】

データ変換装置 1 0 0 は、変換処理によって生成したファイルの位置データを含む着信メッセージを生成すると（ステップ S 1 0 1 2）、そのメッセージを携帯通信端末 1 7 0 に送信する（ステップ S 1 0 1 4）。

【0 1 4 0】

[ファイルを送信する動作]

携帯通信端末 1 7 0 の利用者が、着信メッセージを参照して、所定のアクセス動作を実行すると、データ変換装置 1 0 0 は、そのアクセスを検知する（ステップ S 1 2 0 2）。利用者がパスワードの入力処理を行なって、アクセスのための認証処理が成功した場合には（ステップ S 1 2 0 8 にて Y E S）、データ変換装置 1 0 0 は、携帯通信端末 1 7 0 にメールの一覧を表示するデータを送信する（ステップ S 1 2 1 0）。

【0 1 4 1】

データ変換装置 1 0 0 が携帯通信端末 1 7 0 から、特定のメールを選択する情報を受信すると（ステップ S 1 2 1 2）、そのメールに添付されていたファイルの内容のイメージ

を縮小したデータをその携帯通信端末 1 7 0 に送信する（ステップ S 1 2 1 4）。携帯通信端末 1 7 0 の利用者が特定の画像データの送信を要求すると（ステップ S 1 2 1 6 にて NO、ステップ S 1 2 2 0 にて YES）、データ変換装置 1 0 0 は、特定の画像データについてページ合成処理を実行する（ステップ S 1 3 0 0）。

#### 【0 1 4 2】

データ変換装置 1 0 0 は、携帯通信端末 1 7 0 への送信可能データ量を取得し（ステップ S 1 3 0 4）、選択されたページのデータ量の合計が送信可能データ量を超えない間（ステップ S 1 3 1 0 にて NO）、ページのマージ処理を実行する（ステップ S 1 3 1 2）。このデータ量の合計が送信可能データ量を超えると（ステップ S 1 3 1 0 にて YES）、選択されたページがマージ処理されている場合には（ステップ S 1 3 2 0 にて NO）、データ変換装置 1 0 0 は、マージ処理により生成されたファイルを携帯通信端末 1 7 0 に送信する（ステップ S 1 3 2 4）。これにより、携帯通信端末 1 7 0 は、閲覧を希望するページを含むファイルを受信することができる。

#### 【0 1 4 3】

以上のようにして、本実施の形態に係るデータ変換装置 1 0 0 によると、電子メールの送信先の情報機器の属性に応じて、そのメールに添付されていたファイルのデータ形式を変換して、記憶装置に格納する。このファイルの形式は、情報機器が有するアプリケーションプログラムに依存しないデータ形式である。データ変換装置 1 0 0 は、その変換されたファイルの画像を電子メールの送信先である情報機器に送信する。

#### 【0 1 4 4】

このようにすると、情報機器は、自身が有するアプリケーションでは参照することができないデータ形式によって表わされたファイルが電子メールに添付されて他の情報機器から送信された場合にも、その情報機器は、ファイルの内容を画像イメージとして参照することができる。これにより、情報機器における画像の表示態様に依存することなく文書データを閲覧可能なデータに変換することができるデータ変換装置を提供することができる。

#### 【0 1 4 5】

##### <第 2 の実施の形態>

以下、本発明の第 2 の実施の形態について説明する。本実施の形態に係るデータ変換装置は、ファイルの変換処理を複数の処理の中から選択的に実行する機能を有する点で第 1 の実施の形態と異なる。なお、本実施の形態に係るデータ変換装置は、前述の第 1 の実施の形態に係るデータ変換装置 1 0 0 と同じハードウェア構成を有する。それらの機能も同じである。したがって、それらについての説明はここでは繰り返さない。

#### 【0 1 4 6】

図 1 4 を参照して、本実施の形態に係るデータ変換装置 1 0 0 の制御構造について説明する。図 1 4 は、データ変換装置 1 0 0 の制御部 1 1 0 が実行する選択的変換処理の手順を表わすフローチャートである。なお、前述の第 1 の実施の形態における処理と同一の処理には同一のステップ番号を付し、それらについての説明は繰り返さない。また、図 1 4 に示した処理は、図 1 0 に示すメイン処理において、ステップ S 1 1 0 0 の代わりに実行される。

#### 【0 1 4 7】

ステップ S 1 4 1 0 にて、制御部 1 1 0 は、ファイルの属性データが、機器と伝送路条件とを満たすか否かを判断する。ここで伝送路条件とは、たとえば伝送可能なデータ量を含むが、その他の条件であってもよい。ファイルの属性データがこれらの条件を満足する場合には（ステップ S 1 4 1 0 にて YES）、処理は、ステップ S 1 1 1 0 に移される。そうでない場合には（ステップ S 1 4 1 0 にて NO）、処理は、ステップ S 1 1 0 8 に移される。

#### 【0 1 4 8】

以上のような構造およびフローチャートに基づく、本実施の形態に係るデータ変換装置の動作について説明する。なお、前述の第 1 の実施の形態と同じ動作の説明は、ここでは



繰り返さない。

【0 1 4 9】

データ変換装置 1 0 0 が、メールに添付されているファイルの属性が、送信先の機器と伝送路の条件とを満足すると判断すると（ステップ S 1 4 1 0 にて Y E S）、第 2 の変換処理が実行される（ステップ S 1 1 1 0）。

【0 1 5 0】

以上のようにして、本実施の形態に係るデータ変換装置によると、たとえば機器および伝送路の条件を充足するか否かを判断基準にすることにより、ファイルの変換処理を選択的に実行することができる。その結果、情報機器あるいは伝送路の条件に応じたファイルを生成することができる。

【0 1 5 1】

<第 3 の実施の形態>

以下、本発明の第 3 の実施の形態について説明する。本実施の形態に係るデータ変換装置は、装置自身の内部に予め記憶しておいたファイルを変換する機能を有する点で、前述の各実施の形態と異なる。

【0 1 5 2】

図 1 5 を参照して、本実施の形態に係るデータ変換装置 1 5 0 0 の構成について説明する。図 1 5 は、データ変換装置 1 5 0 0 が使用される通信システムを概略的に表わす図である。

【0 1 5 3】

図 1 5 に示すように、データ変換装置 1 5 0 0 は、制御部 1 5 1 0 と、登録者 D B (Database) 1 2 0 と、ドキュメント D B 1 4 0 とを含む。制御部 1 5 1 0 は、ドキュメントエージェント 1 5 1 2 と、メール送信エージェント 1 1 4 と、W E B サーバ & W E B メールエージェント 1 1 6 と、ドキュメント変換エンジン 1 1 8 とを含む。

【0 1 5 4】

本実施の形態に係るデータ変換装置 1 5 0 0 は、ドキュメントエージェント 1 5 1 2 を有する点で、図 1 に示したデータ変換装置 1 0 0 の構成と異なる。その他のハードウェア構成は、前述の実施の形態と同じであるため、ここでは繰り返さない。

【0 1 5 5】

ドキュメントエージェント 1 5 1 2 は、W E B サーバ & W E B メールエージェント 1 1 6 との間で、所定の情報（たとえば、携帯通信端末 1 7 0 のユーザ情報、その端末の属性、通信回線の伝送容量等）をやり取りする。ドキュメントエージェント 1 5 1 2 は、その情報に基づいて、特定のファイルの変換指令を出力して、ドキュメント変換エンジン 1 1 8 に、そのファイルを変換させ、ドキュメント D B 1 4 0 に保存させる。

【0 1 5 6】

メール送信エージェント 1 1 4 は、この変換されたファイルをメールサーバ 1 8 4 に出力して、さらにネットワーク 1 9 8 を介して、携帯通信端末 1 7 0 に送信する。

【0 1 5 7】

図 1 6 を参照して、本実施の形態に係るデータ変換装置 1 5 0 0 の制御構造について説明する。図 1 6 は、データ変換装置 1 5 0 0 の制御部 1 5 1 0 が実行する処理の手順を表わすフローチャートである。なお、前述の実施の形態における処理と同一の処理には、同一のステップ番号を付し、それらについての説明は、ここでは繰り返さない。

【0 1 5 8】

ステップ S 1 5 0 2 にて、制御部 1 5 1 0 は、ドキュメント D B 1 4 0 からファイルを読み出す。このファイルの読み出しは、たとえば新たなファイルがファイル D B 1 4 0 に格納されたとき、あるいは予め設定された時刻（たとえば、毎週所定の日時等）になったときに、行なわれるが、読出のトリガーは、上記の場合に限られず、その他の条件が成立した場合であってもよい。

【0 1 5 9】

ステップ S 1 5 0 4 にて、制御部 1 5 1 0 は、ファイルの送信先の機器の属性を判定す



る。この判定の元となるデータは、たとえば登録者DB120に予め格納されているデータであるが、他のデータであってもよい。たとえば、読み出されたファイルがヘッダ部を有し、そのヘッダ部が機器の情報を含む場合には、各ファイルに格納されているデータに基づいて、機器の属性を判定することができる。

#### 【0160】

ステップS1506にて、制御部1510は、読出したファイルのデータ変換が必要であるか否かを判断する。この判断は、たとえば読出したファイルの属性と送信先の機器の属性とが一致するか否かに基づいて行なわれる。たとえば、送信先の機器が、ドキュメントDB140に記憶されているファイルをそのままの形式で読み取ることができる場合には、データ変換が不要と判断される。ファイルのデータ変換が必要であると判断すると（ステップS1506にてYES）、処理はステップS1100に移される。そうでない場合には（ステップS1506にてNO）、処理はステップS1510に移される。

#### 【0161】

ステップS1510にて、制御部1510は、読出したファイルをデータ変換することなく無変換のまま、機器に送信する。

#### 【0162】

ステップS1512にて、制御部1510は、変換処理により生成されたファイルの格納位置の情報を含むメッセージを作成する。この情報は、たとえばURL、あるいは社内LANの場合にはそのLAN内で定められた所定のアドレス情報等を含む。また、メッセージは、テキスト表示される文字列であるが、図形、画像その他の態様であってもよい。

#### 【0163】

ステップS1514にて、制御部1510は、そのメッセージを送信先の機器に送信する。なお、メッセージとともに、変換されたファイルをそのまま送信してもよい。また、送信先の機器は、たとえば携帯通信端末170その他の通信端末であるが、これに限られない。たとえば、印刷装置であってもよい。

#### 【0164】

以上のような構造及びフローチャートに基づく、本実施の形態に係るデータ変換装置1500の動作について説明する。なお、前述の各実施の形態における動作と同じ動作の説明は、ここでは繰り返さない。

#### 【0165】

データ変換装置1500がドキュメントDB140からファイルを読み出し（ステップS1502）、送信先の機器の属性を判定する（ステップS1504）。そのファイルのデータ変換が必要である場合には（ステップS1506にてYES）、所定の変換処理が実行される（ステップS1100）。

#### 【0166】

以上のようにして、本実施の形態に係るデータ変換装置1500によると、予めドキュメントDB140に記憶しておいたファイルを読み出して、送信先の機器の属性に応じてそのファイルのデータ形式を変換する。このようにすると、たとえば共通のファイルを、異なる属性を有する複数の情報機器に送信する場合に、各属性に応じたファイルを予め作成して保存しておく必要がない。そのため、ドキュメントDB140等の記憶装置のデータ記憶領域を効率よく活用することができるとともに、各ファイルを共有化することができるため、情報の共有化を促進することができる。

#### 【0167】

また、ファイルの読み出しのタイミングを、たとえば特定の時刻、新規に作成されたファイルの保存、あるいはファイルの更新があったとき、などに設定することにより、データ変換装置1500に接続される利用者は、適宜、アップデートされた情報を知ることができるため、更新情報の共有化も進めることができる。

#### 【0168】

#### <第4の実施の形態>

以下、本発明の第4の実施の形態について説明する。本実施の形態に係るデータ変換装

置は、ファイルの変換処理を選択的に実行する機能を有する点で、第 3 の実施の形態に係るデータ変換装置と異なる。なお、本実施の形態に係るデータ変換装置のハードウェア構成は、第 3 の実施の形態と同じである。したがって、その説明は、ここでは繰り返さない。

#### 【0 1 6 9】

本実施の形態に係るデータ変換装置の制御構造は、図 1 6 に示したフローチャートにおいて、ステップ S 1 1 0 0 の変換処理に代えて、図 1 4 に示した選択的変換処理を含む。それらの処理は、前述した処理と同じであるので、ここではそれらについての説明は繰り返さない。

#### 【0 1 7 0】

このような制御構造を有するデータ変換装置は、レイアウト情報を有するファイルを選択的に変換するため、予め情報機器ごとに変換処理の種類を設定しておくことにより、必要なデータ形式に基づいて表わされるファイルのみを生成することができる。このようにすると、それぞれの情報機器が必要としないファイルが生成されないため、ドキュメント DB 1 4 0 その他の記憶装置の記憶領域を有効に使用することができる。また、係るファイルの管理をする必要がなくなるため、管理業務の削減という観点から、効率を向上させることができる。

#### 【0 1 7 1】

今回開示された実施の形態はすべての点で例示であって制限的なものではないと考えられるべきである。本発明の範囲は上記した説明ではなくて特許請求の範囲によって示され、特許請求の範囲と均等の意味および範囲内でのすべての変更が含まれることが意図される。

#### 【図面の簡単な説明】

#### 【0 1 7 2】

【図 1】本発明の第 1 の実施の形態に係るデータ変換装置が使用される通信システムを概略的に表わす図である。

【図 2】図 1 に示したデータ変換装置の登録者 DB に格納されるデータの構造を概念的に表わす図である。

【図 3】図 1 に示したデータ変換装置のメール DB が記憶する通信情報の構造を概念的に表わす図である。

【図 4】図 1 に示したデータ変換装置のドキュメント DB におけるデータ構造を概念的に表わす図（その 1）である。

【図 5】図 1 に示したデータ変換装置のドキュメント DB におけるデータ構造を概念的に表わす図（その 2）である。

【図 6】図 1 に示したデータ変換装置を実現するコンピュータシステムのハードウェア構成を表わすブロック図である。

【図 7】図 1 に示したデータ変換装置に接続する携帯通信端末のモニタに表示される画面を表わす図である。

【図 8】図 1 に示したデータ変換装置を介して通信される電子メールのデータ構造を概念的に表わす図である。

【図 9】図 1 に示したデータ変換装置において変換される J P E G 画像データのバイナリ列のヘッダ部の一部を概念的に表わす図である。

【図 1 0】本発明の第 1 の実施の形態に係るデータ変換装置の制御部が実行する処理の手順を表わすフローチャート（その 1）である。

【図 1 1】本発明の第 1 の実施の形態に係るデータ変換装置の制御部が実行する処理の手順を表わすフローチャート（その 2）である。

【図 1 2】本発明の第 1 の実施の形態に係るデータ変換装置の制御部が実行する処理の手順を表わすフローチャート（その 3）である。

【図 1 3】本発明の第 1 の実施の形態に係るデータ変換装置の制御部が実行する処理の手順を表わすフローチャート（その 4）である。

【図 1 4】本発明の第 2 の実施の形態に係るデータ変換装置の制御部が実行する処理の手順を表わすフローチャートである。

【図 1 5】本発明の第 3 の実施の形態に係るデータ変換装置が使用される通信システムを概略的に表わす図である。

【図 1 6】本発明の第 3 の実施の形態に係るデータ変換装置の制御部が実行する処理の手順を表わすフローチャートである。

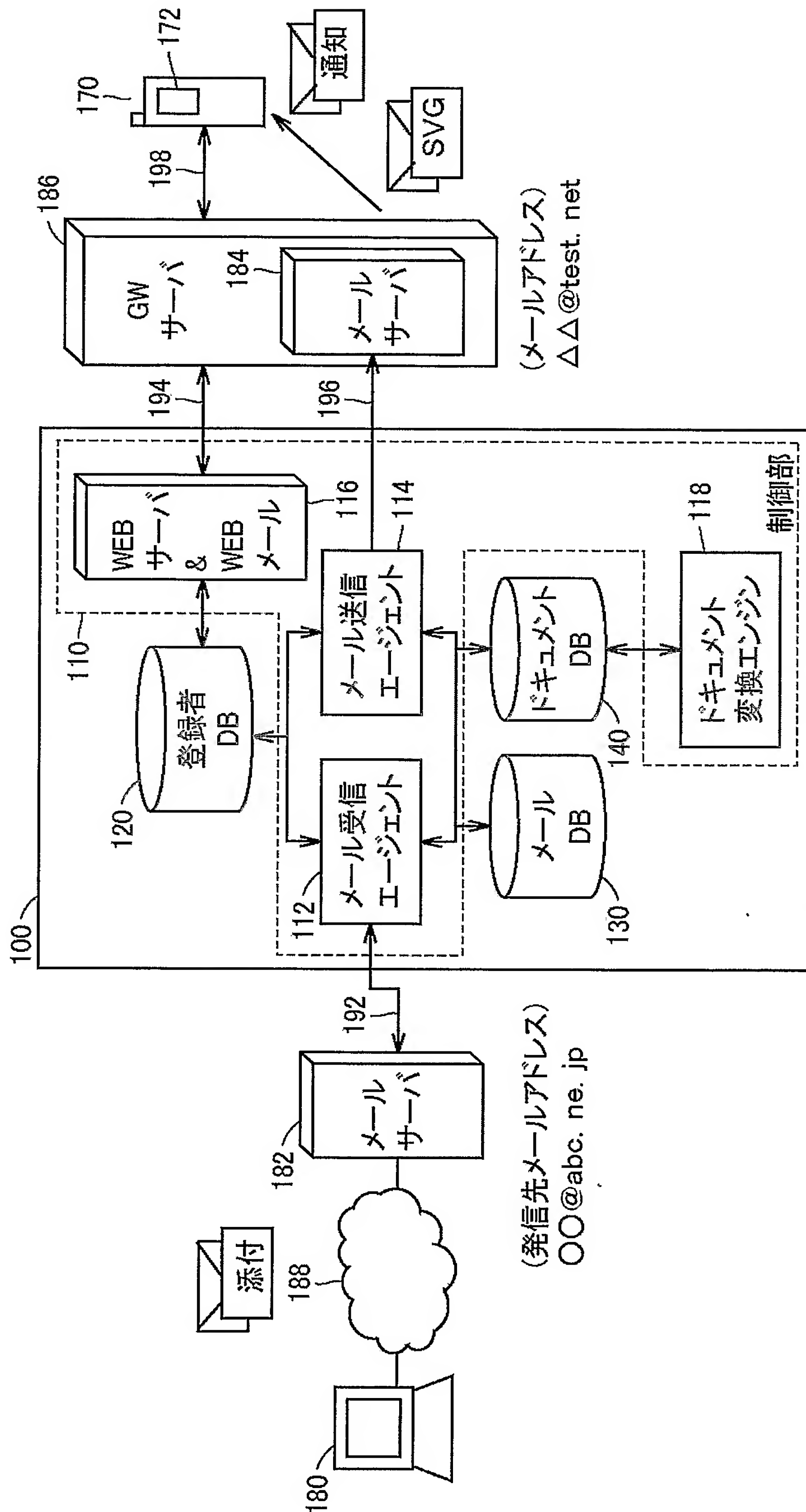
【符号の説明】

【 0 1 7 3 】

1 0 0, 1 5 0 0 データ変換装置、1 1 0, 1 5 1 0 制御部、1 1 2 メール受信エージェント、1 1 4 メール送信エージェント、1 1 6 WEBサーバ&WEBメールエージェント、1 1 8 ドキュメント変換エンジン、1 2 0 登録者DB、1 3 0 メールDB、1 4 0 ドキュメントDB、1 7 0 携帯通信端末、1 7 2 モニタ、1 8 0 情報通信端末、1 8 2, 1 8 4 メールサーバ、1 8 6 GWサーバ、1 8 8, 1 9 2, 1 9 4, 1 9 6, 1 9 8 ネットワーク、6 0 0 コンピュータシステム、6 1 0 CPU、6 2 0 RAM、6 3 0 固定ディスク、6 4 0 FD駆動装置、6 4 2 FD、6 5 0 CD-ROM駆動装置、6 5 2 CD-ROM。

【書類名】 図面

【図 1】





【図 2】

130

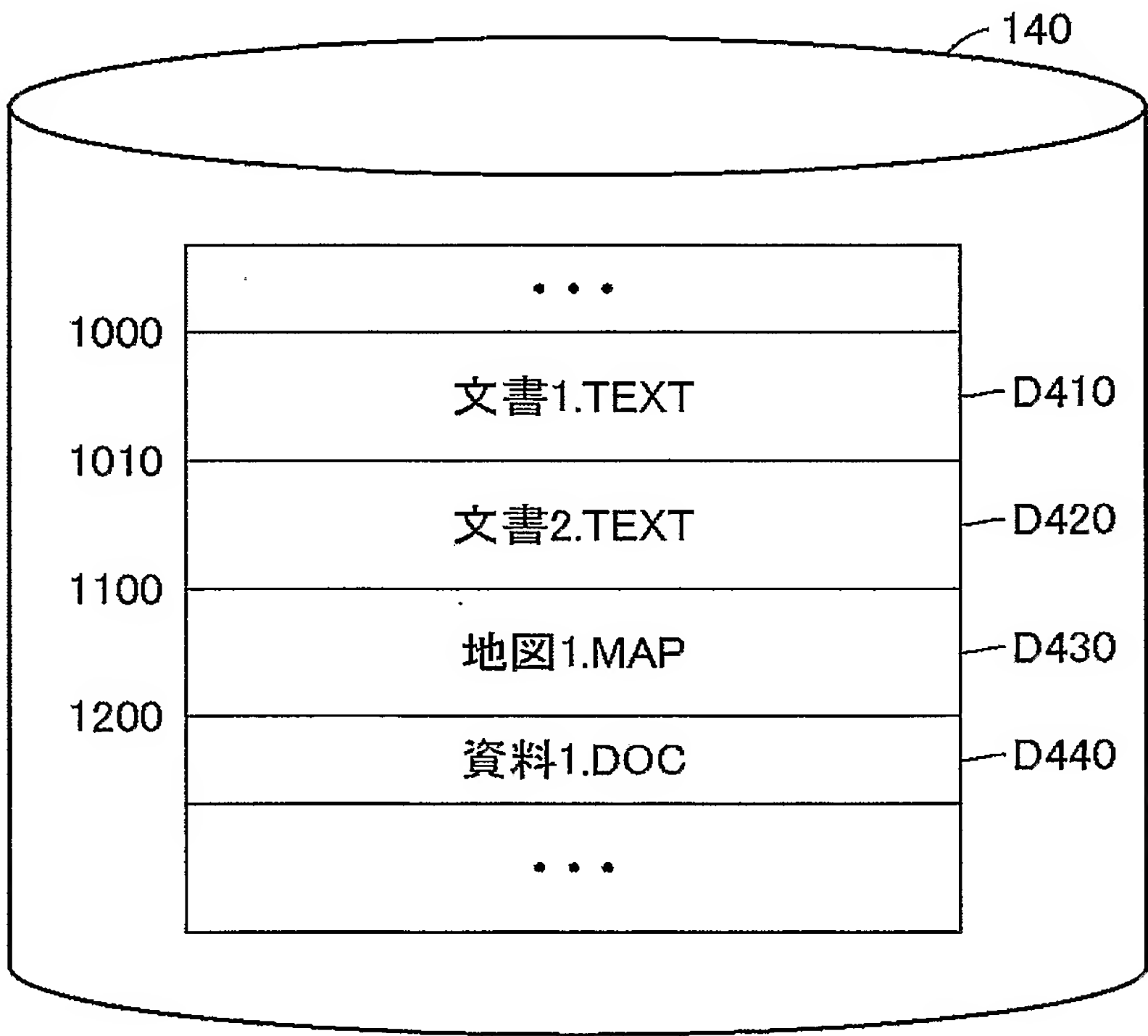
F210	F220	F230	F240	F250
ユーザID	パスワード	端末シリアルID	端末メールアドレス	発信先メールアドレス
aaa	*****	2003abcdefg	△△@test. net	○○@abc. ne. jp
aaa	*****	printer001	printer1@office. net	○○@abc. ne. jp
aaa	*****	...	△△@test. net	●●@abc. ne. jp
aaa	...	...	printer1@office. net	●●@abc. ne. jp
aaa	...	...	...	...
bbb	...	...	...	...
ccc				
ddd				
...				

【図 3】

130

F310 発信先	F320 差出人	F330 メール送信日時	F340 件名	F350 本文	F360 ファイル保存先
...	...	...	...	...	1000
OO@abc.ne.jp	...	...	第6回QMS定期審査会日程ご連絡	...	NULL
OO@abc.ne.jp	...	...	IT資産管理ツールの御案内	...	...
OO@abc.ne.jp	...	...	7月度品質改革計画返却の件	...	...
OO@abc.ne.jp	x x@sender.jp	2003/8/6 16:56	Re:アポイントメントください	8/20でいかかでしょう か?以上、よろしく お願いします。	1200
OO@abc.ne.jp	...	...	Re:SL760評価レポートの件	...	...
OO@abc.ne.jp	...	...	Teleconference Subject	...	...
...	...	...	...	...	...

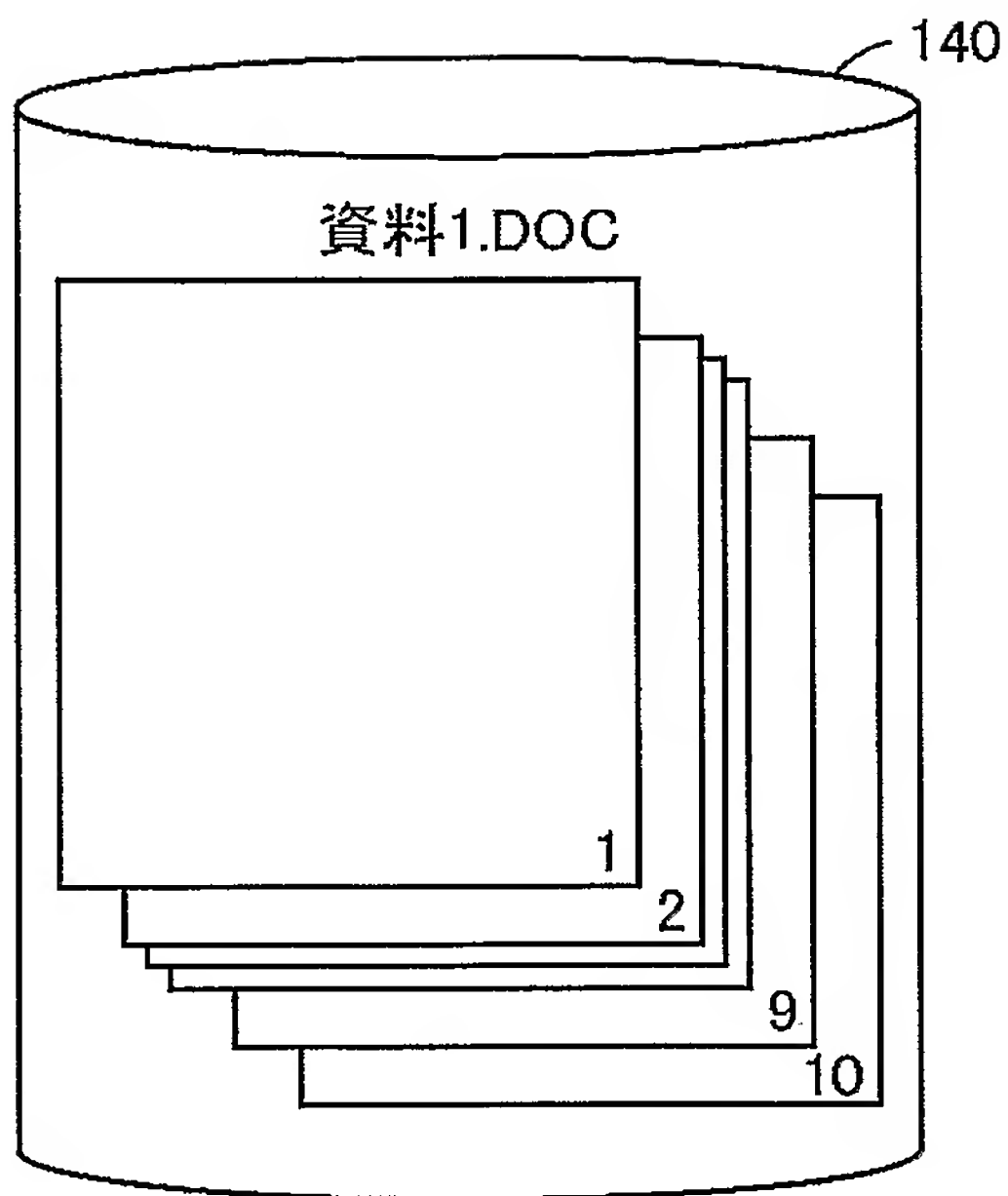
【図 4】



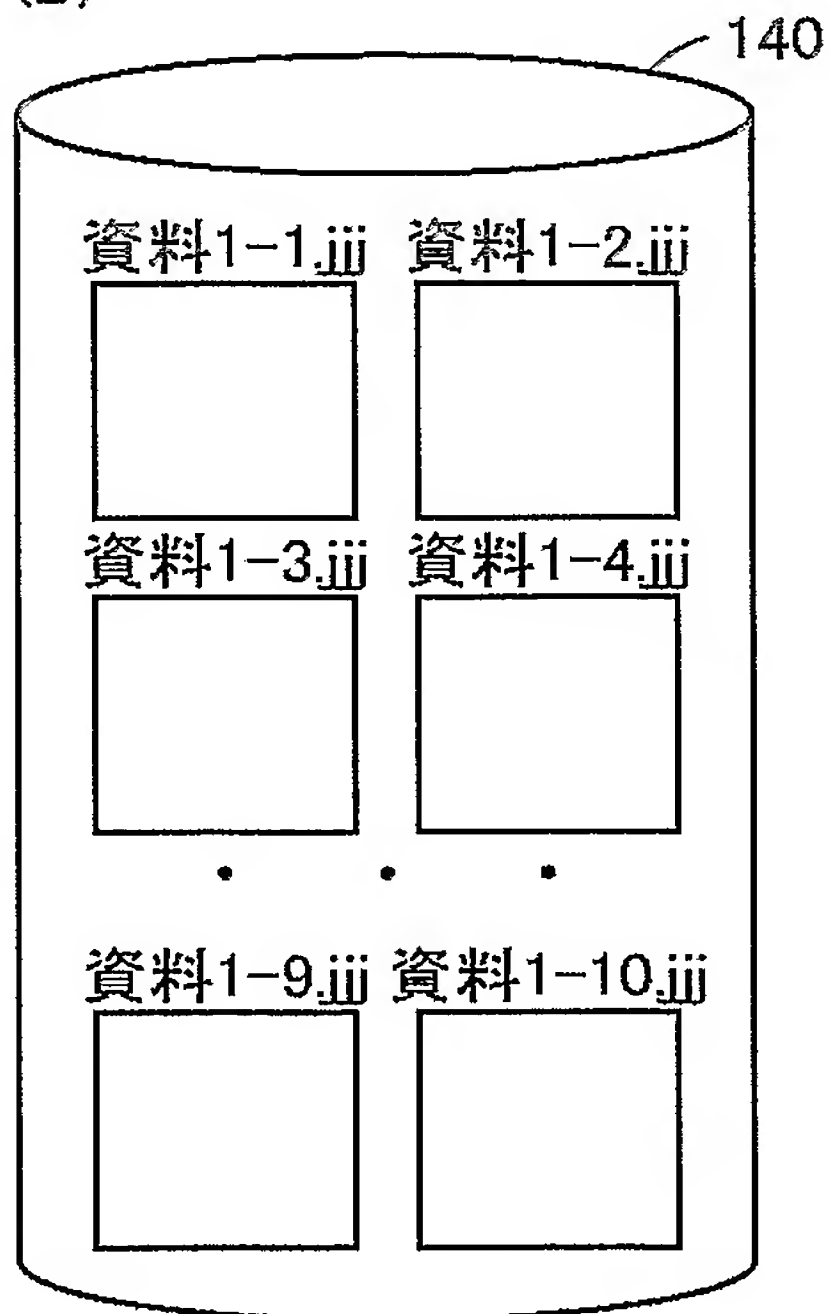


【図 5】

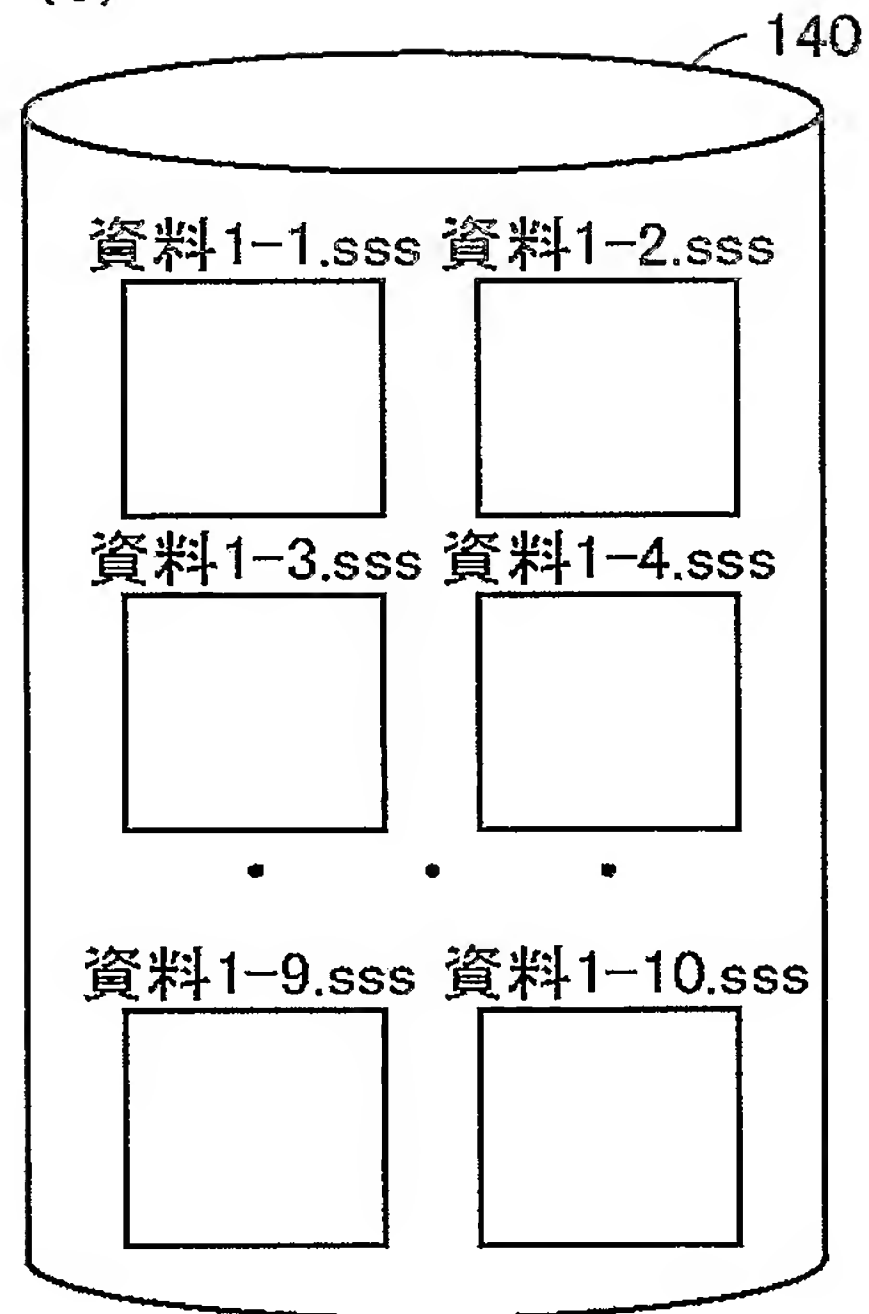
(A)



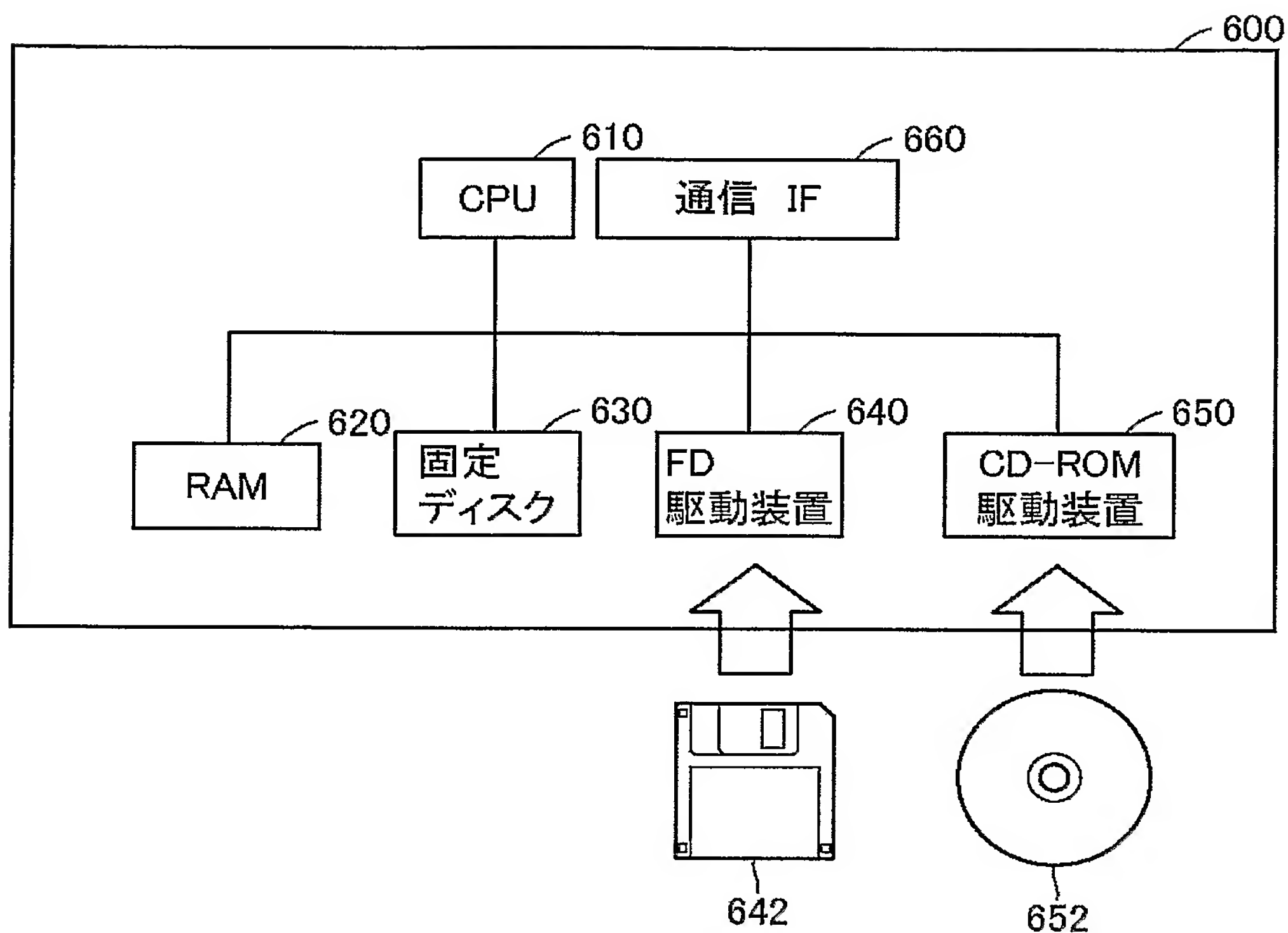
(B)



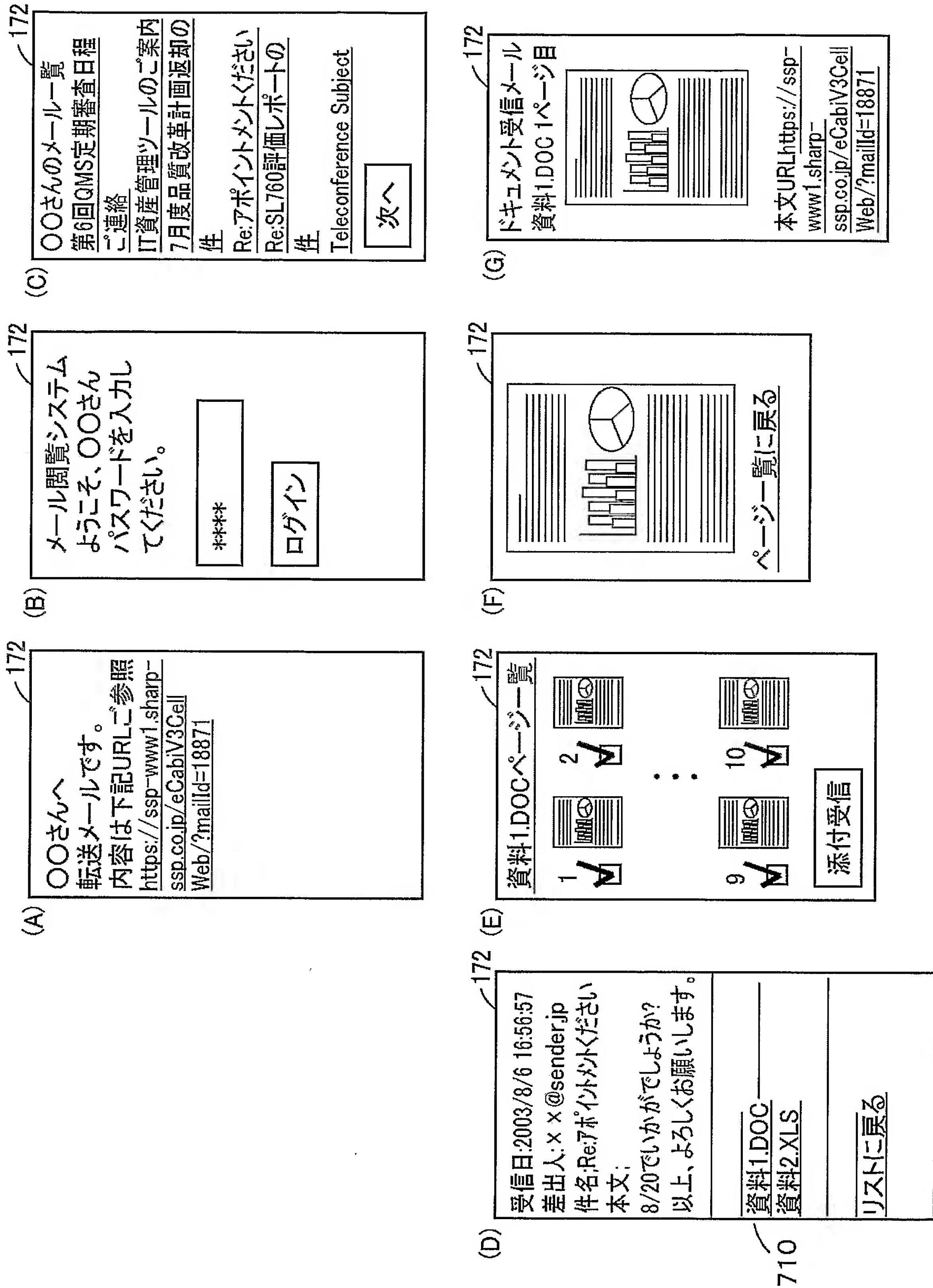
(C)



【図 6】

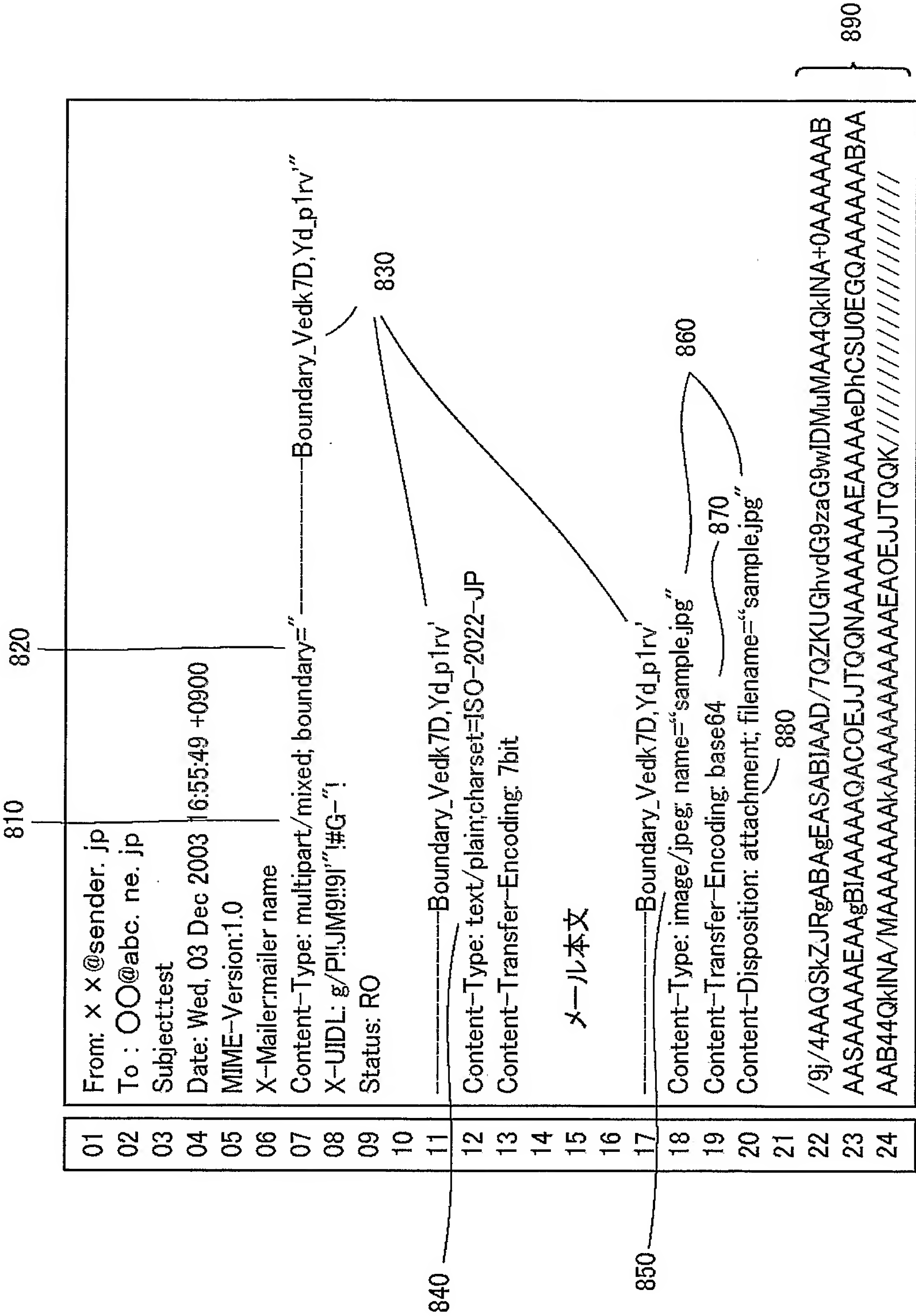


【図 7】





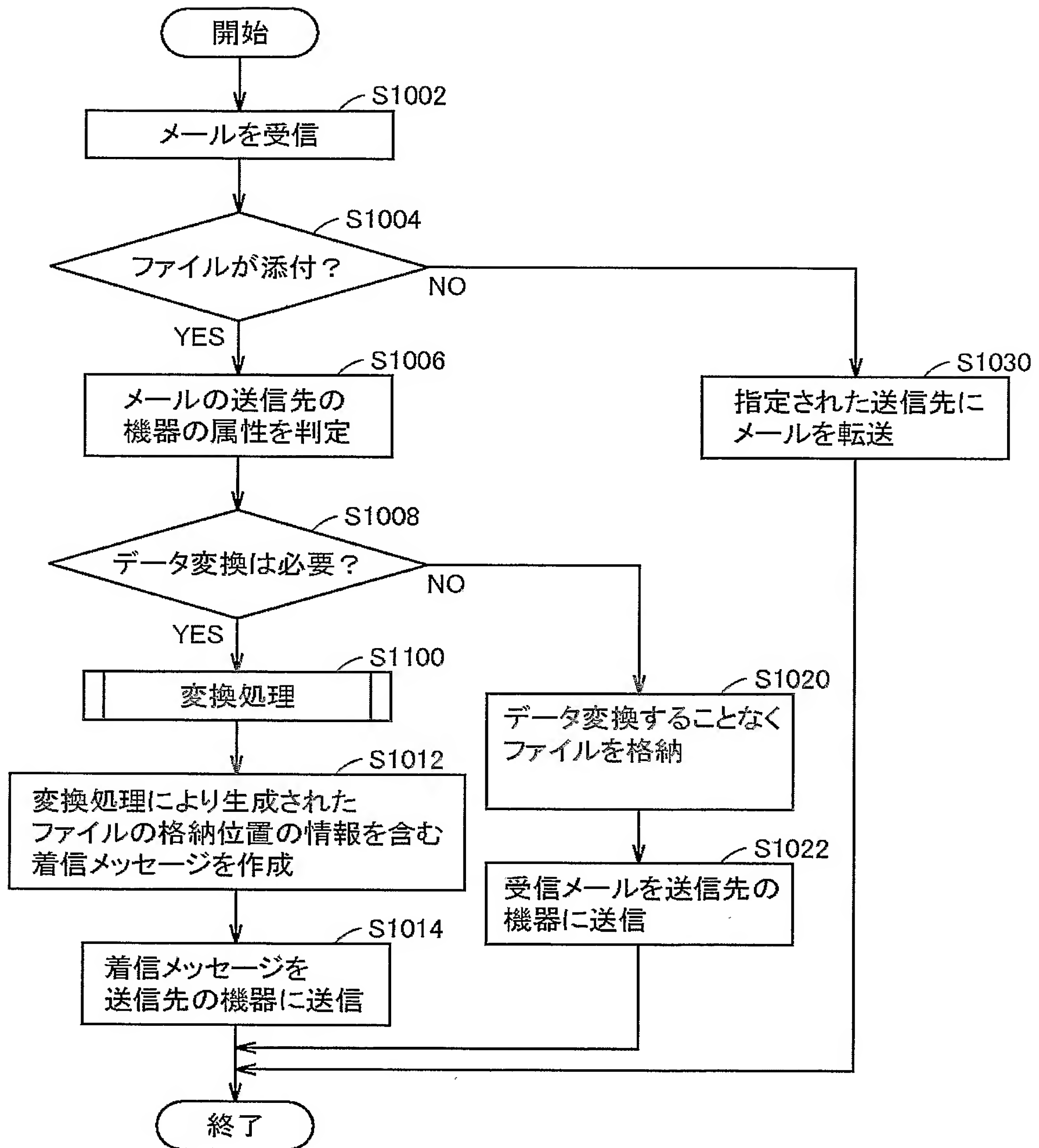
【図 8】



【図 9】

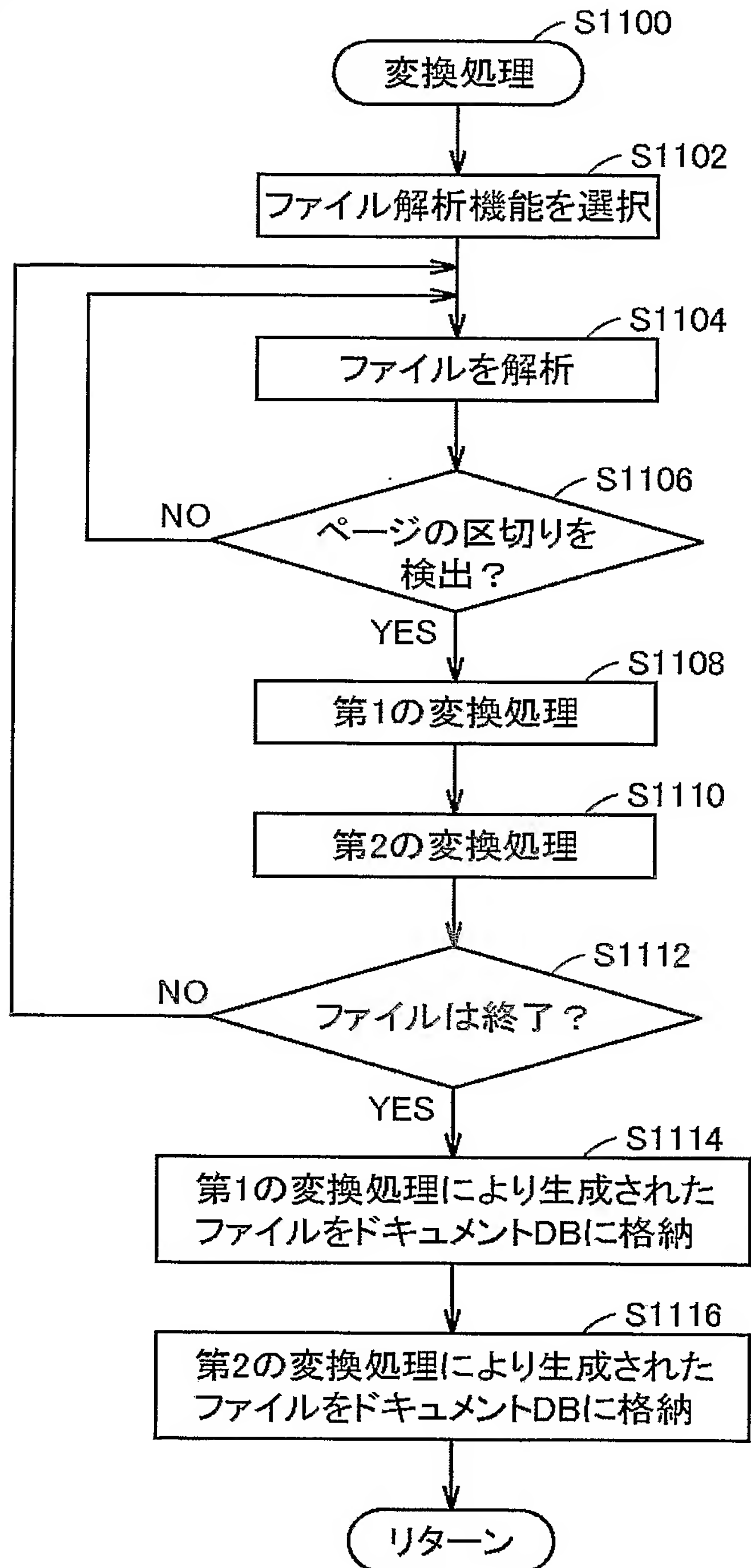
	1	2	3	4	5
1	FF	D8	FF	E0	00
2	10	4A	46	49	46
3	00	01	02	01	00
4	48	00	48	00	00
5	FF	ED	06	4A	50
⋮			⋮		

【図 10】

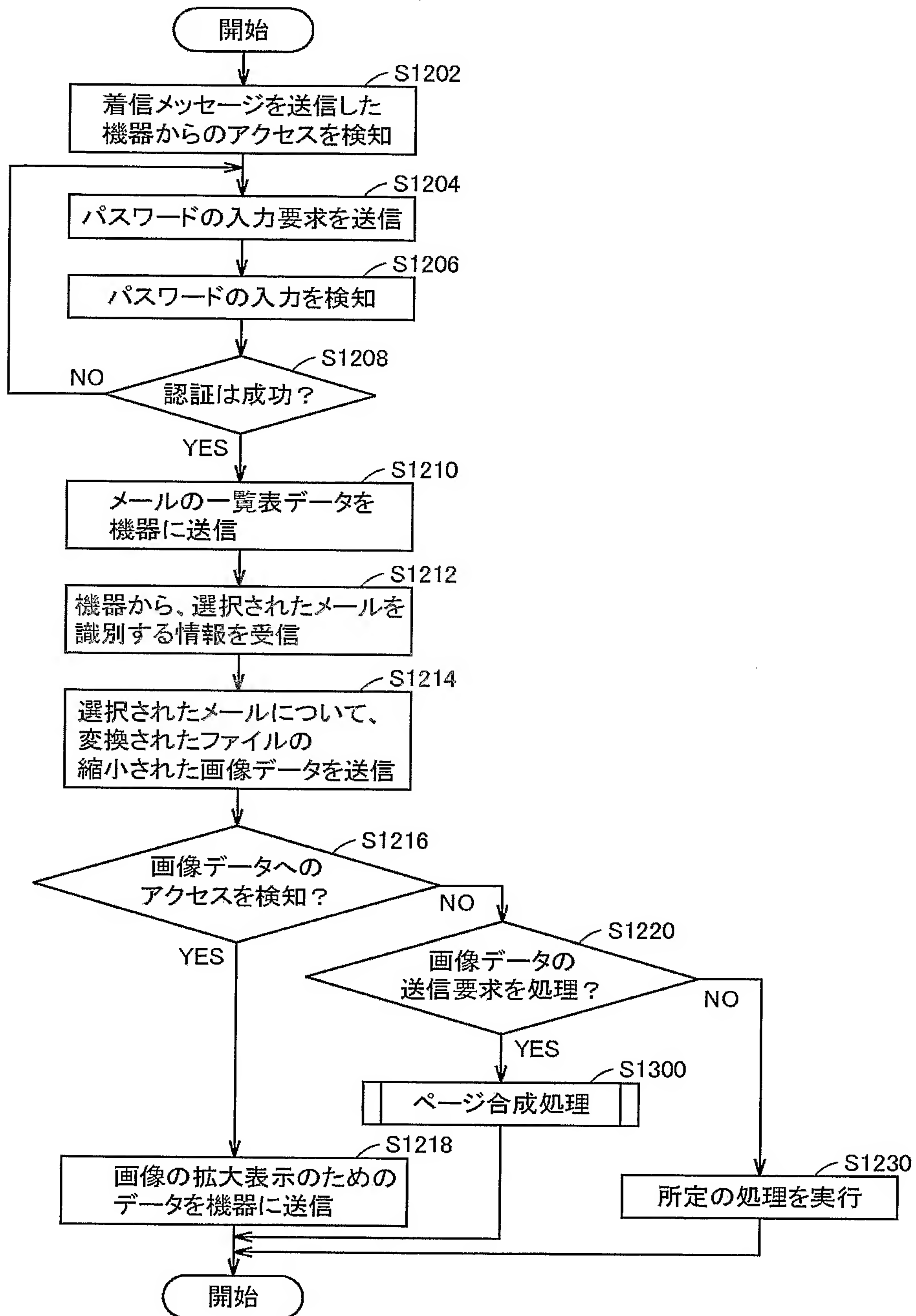




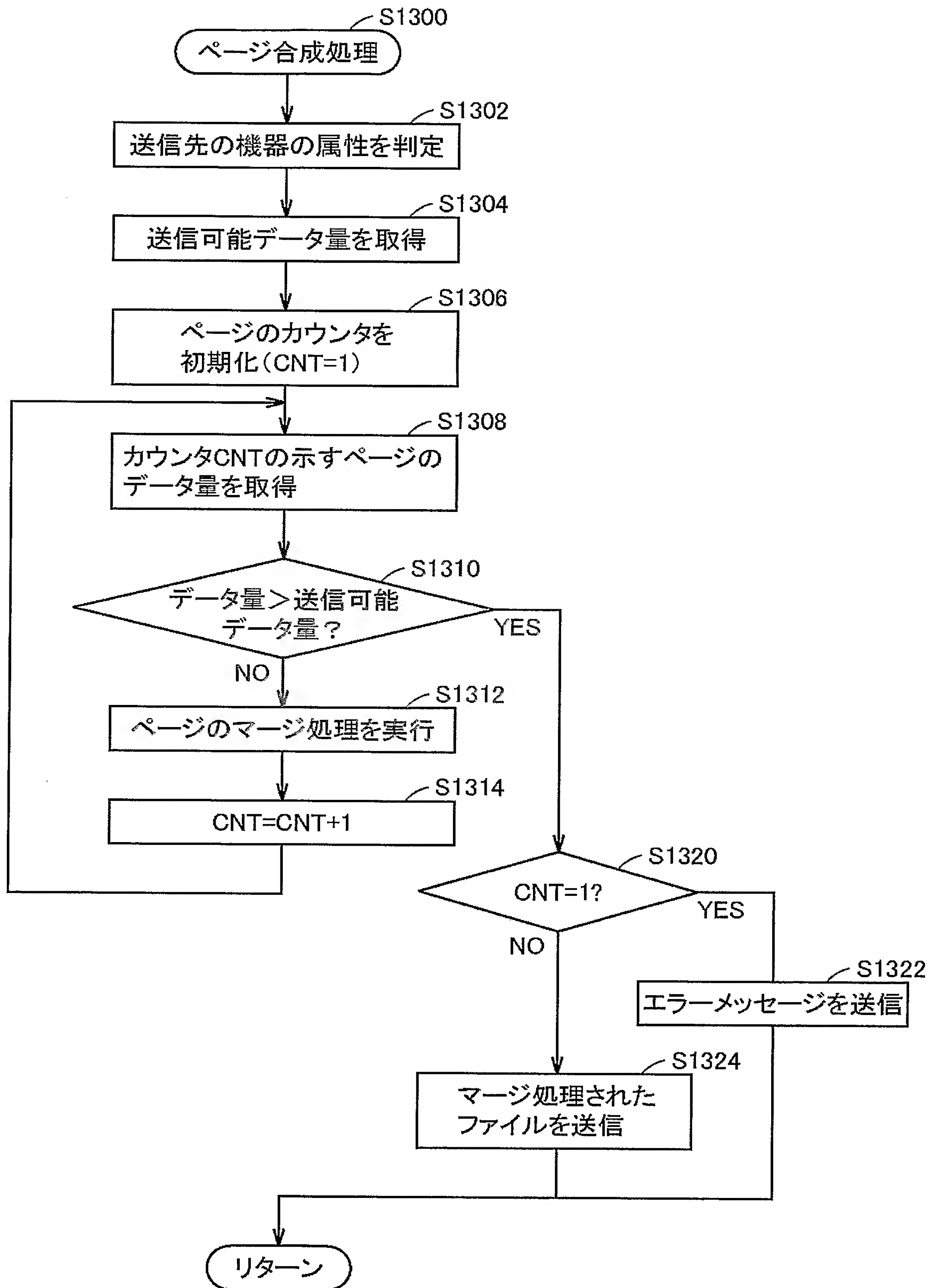
【図 11】



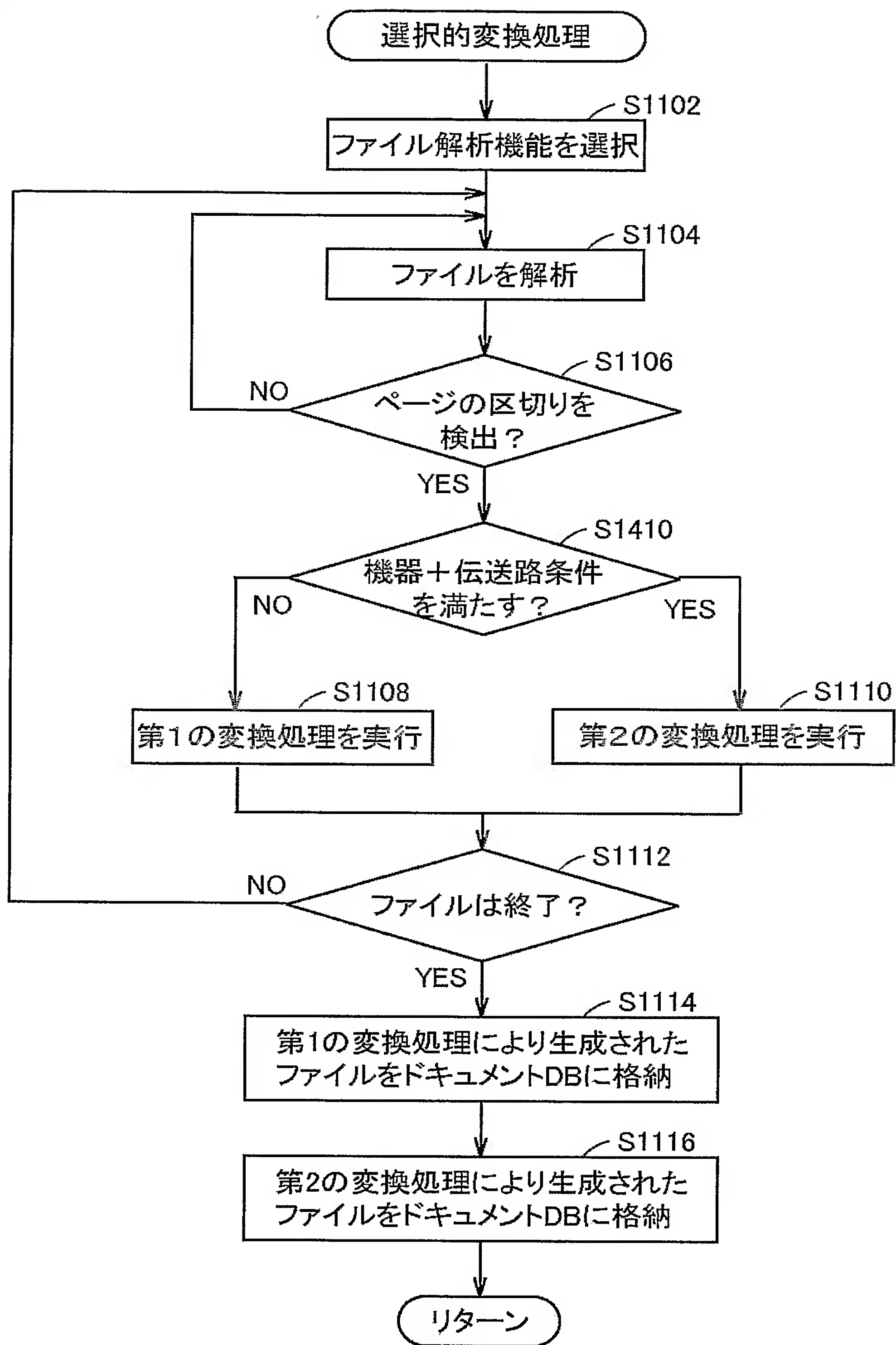
【図 12】



【図 13】

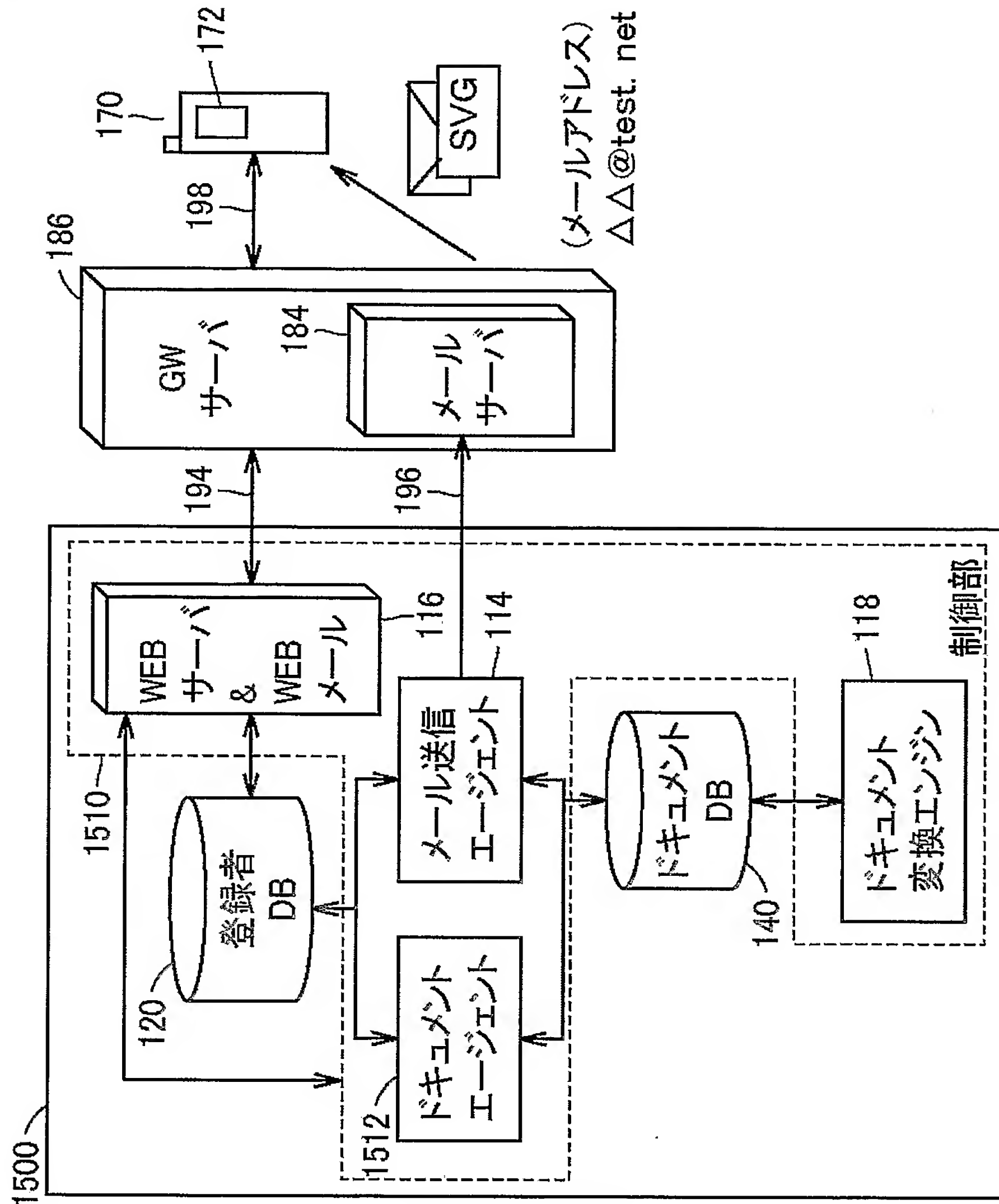


【図 14】

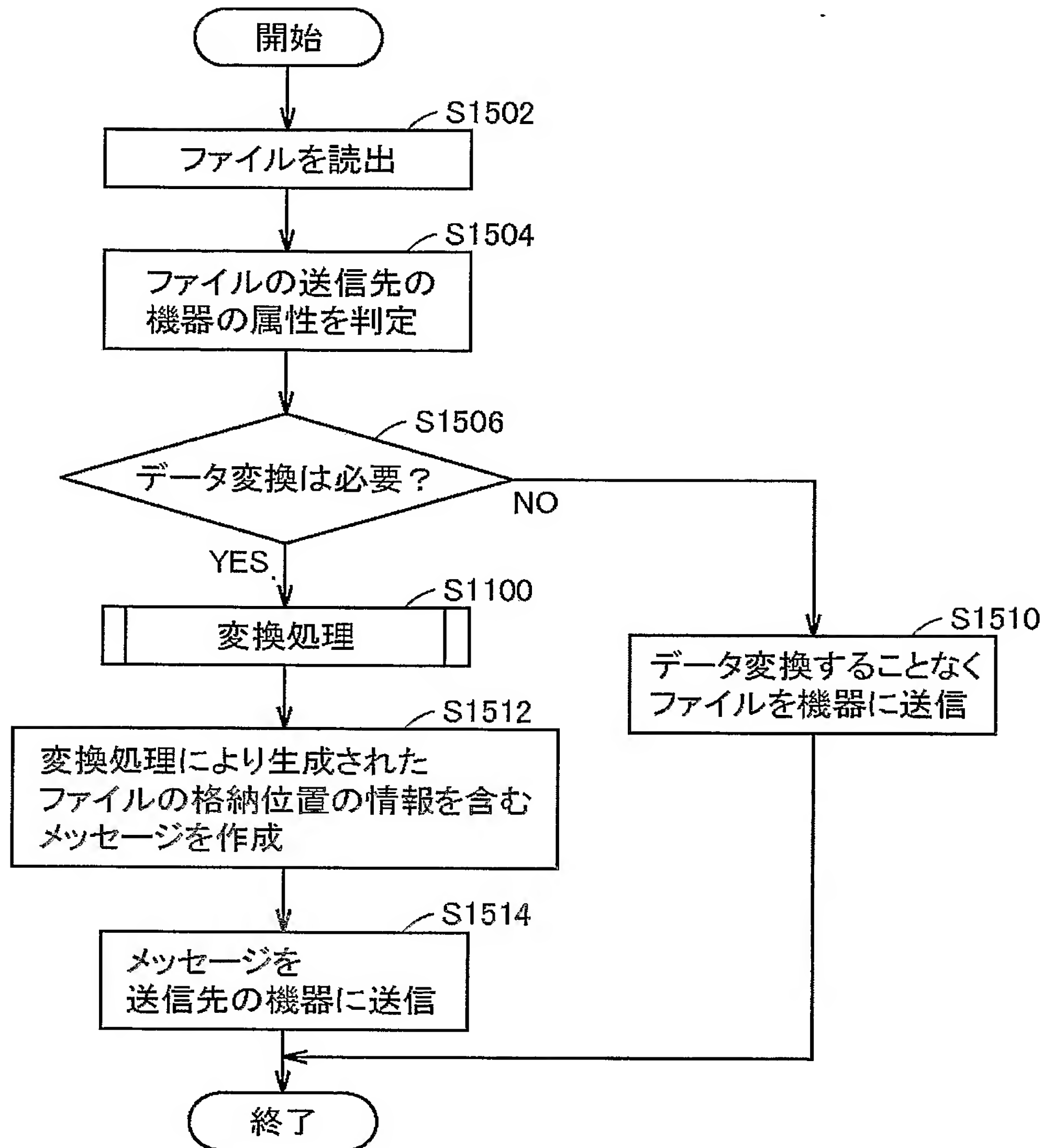




【図 15】



【図 16】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 レイアウト情報を有するファイルを、情報機器の処理特性に依存しないファイルに変換するデータ変換装置を提供する。

【解決手段】 データ変換装置の制御部が実行する処理は、受信メールにファイルが添付されている場合に（S 1 0 0 4 にて Y E S）、メールの送信先の機器の属性を判定するステップ（S 1 0 0 6）と、データ変換が必要である場合に（S 1 0 0 8 にて Y E S）、変換処理を実行するステップ（S 1 1 0 0）と、変換処理によって生成されたファイルの格納位置の情報を含む着信メッセージを作成するステップ（S 1 0 1 2）と、着信メッセージを送信先の機器に送信するステップ（S 1 0 1 4）と、データ変換が必要でない場合に（S 1 0 0 8 にて N O）、データ変換することなくファイルを格納するステップ（S 1 0 2 0）と、受信メールを送信先の機器に送信するステップ（S 1 0 2 2）とを含む。

【選択図】 図 1 0

特願 2 0 0 3 - 4 1 5 2 0 6

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [ 0 0 0 0 0 5 0 4 9 ]

1. 変更年月日	1 9 9 0 年 8 月 2 9 日
[変更理由]	新規登録
住 所	大阪府大阪市阿倍野区长池町 2 2 番 2 2 号
氏 名	シャープ株式会社